

令和7年度第1回市川市市民活動団体事業補助金審査会 次第

日時：令和8年3月2日（月）午後1時30分から

場所：市川市役所 第1庁舎 2階 市民活動支援センター（ミーティングスペース）

次 第

1. 議 題

- (1) 令和8年度市川市市民活動団体事業補助金交付申請の審査
- (2) その他

2. 配布資料

- 資料1：申請書類一式
- 資料2：団体別審査表
- 資料3：質疑に対する回答の一覧表
- 資料4：投票シート

以上

審査会の進め方について

1. 事務局により確認済である継続事業（34 団体）の交付可否 一括 決議

2. 特に審査が必要と認める事業（5 団体）の交付可否 個別 決議

下記のタイムスケジュールを参照ください。

（1）申請団体のヒアリング（1 団体）

（2）事前質疑への回答を受けたご意見交換（4 団体）

（3）投票および交付可否の審議

添付資料4「投票シート」の項目毎に評価を行い、最終評価欄を記入してください。最終評価は、「1 交付する」、「2 条件付きで交付する」、「3 交付しない」のうち、あてはまるものに○をして下さい。また、その理由をご記入ください。

【タイムスケジュール】

① 事前質疑への回答を受けた意見交換 ② 交付可否決定の審査 ③ 投票

14:00～14:40（予定）	1 回目申請団体	1	127	特定非営利活動法人世界の胎音計（ヒアリング）
14:40～15:00（予定）	1 回目申請団体	2	113	特定非営利活動法人 M&MTable
15:00～15:40（予定）	4 回目申請団体	3	107	実践人市川読書会
		4	116	行徳郷土文化懇話会
		5	117	いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

（投票用紙記入、集計、発表を含む）

審査結果は、後日、文書により団体に通知する予定です。

3. 第 2 回審査会について（事務局より事務連絡）

様式第1号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和7年12月8日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人 世界の胎音計

代表者名

所在地

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

世界の胎音計音楽の泉 Vol. 3 事業“ナマステ楽団”公演

2 補助対象事業の概要

インド音楽“ナマステ楽団”を開催する事により国際理解の推進を含め、世界の子どもたちの環境づくり、貧困と虐待からの脱出等のサポート及び途上国の子どもたちへの教育支援を行うことを目的としております。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額

85,620 円

5 補助対象経費総額

85,620 円

6 交付申請額

42,810 円

様式第2号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団体名	特定非営利活動法人 世界の胎音計		
代表者氏名			
主たる事務所の所在地			
その他事務所の所在地			
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○			
設立年月日	2009年9月28日	会員数	10名（令和7年12月現在）
ホームページ	なし	e-mail	nagatsuka@clock.ocn.ne.jp
会報等の発行	なし		
団体の活動目的	世界の胎音計は音楽を通して世界の子どもたちの環境づくり、貧困と虐待からの脱出等のサポート及び途上国の子どもたちへの教育支援を行い、子どもたちの心身の健康を育む事を促進し、公益の増進に寄与することを目的としています。		

様式第3号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	世界の胎音計音楽の泉 Vol、3 事業“ナマステ楽団”公演	
補助対象事業が該当 する分野 (該当する分野に *)		1 保険、医療又は福祉の増進 * 2 社会教育の推進 3 まちづくりの推進 4 観光の振興 5 農業又は水産業の振興 * 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 7 環境の保全 8 災害救援活動 9 地域の安全の確保 * 10 人権の擁護又は平和の推進 * 11 国際協力 12 男女共同参画社会の形成の促進 * 13 子どもの健全育成 14 情報化社会の発展 15 科学技術の振興 16 経済活動の活性化 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 18 消費者の保護 * 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 * 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
解決したい地域課題 は何ですか	<p>世界には、爆撃や騒乱から逃げるために、激しい紛争地域に閉じ込められ、過酷な状況で命の危機にさらされている多くの子どもたちがいます。</p> <p>今回のインド音楽“ナマステ楽団”の演奏者、末森英樹氏は毎年インドツアーを実施している数少ないインド通です。付いてはインドの養護施設、小学校等を訪問し、実態を把握出来ればと思います。</p> <p>また、身近な所から生活物資及び文具を始め、物品の支援を増進し、子どもたちの人道的な環境整備が急務と考えます。</p>	
地域課題により困っ ている人は誰ですか	<p>大人が起こす戦争、自然破壊により世界には多くの飢餓にあえぐ子どもたちがいます。また国内では、保護者が無く、少年院を出院後様々な事情があり、家庭など帰る場所のない子どもたちがいます。</p> <p>困っている人は子どもたちです。</p>	

事業を行う目的は何ですか	<p>インド音楽“ナマステ楽団”公演を通して、国際理解を深め、グローバルな視点で活動が出来ます。演奏者・末森英樹氏はフィリピン・マニラ刑務所やインドのマザーテレサの施設でも支援活動を実施している世界規模で活躍されている視野の広い人です。ナマステ楽団の演奏を通して世界の各国々の人々と数多く交流を深め自身のスキルアップを高める事で、高度な空気感を肌感覚で体験出来る良い機会です。</p> <p>付いては、世界の子どもたちへ健全な育成を促進し、明日への糧として感じて頂く事で、市民の地域文化の振興を図るものです。</p> <p>また市川市の音楽文化底辺拡大に寄与するものです。</p>
事業の実施方法	<p>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 ○コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他：</p>
事業の主体	<p>○当該団体 /市の他課 /他の団体 /その他（ ） 上記に関する補足</p>
改善状況	<p>審査会からの指摘事項</p> <p>指摘なし / 指摘あり、</p>
事業内容	<p>事業の対象者は誰ですか</p> <p>市川市民 (参加想定人数 45人)</p>
	<p>事業はいつ行いますか</p> <p>2027年3月実施予定</p>
	<p>事業はどこで行いますか</p> <p>I-Link ホール、又は男女共同参画センター予定</p>
	<p>事業をどのように行いますか</p> <p>コンサートの前に講演会を開催予定(30分) 北海道で保護者が無く、少年院を出院後様々な事情があり、家庭など帰る場所のない子どもたちがいます。そうした子どもたちに安心出来る「居場所」を提供し、彼らが社会の中で幸福な人生を送り、自立する為の様々なサポートを行っている方がいます。NPO 法人スマイルリング、理事長/堀田豊稔氏です。講演会を実施することで子どもたちに自立する環境整備を支援し、人権の意識推進、及び国内外に起きている様々な人道的問題に寄与します。</p> <p>世界の胎音計音楽の泉 Vol、3 事業“ナマステ楽団”コンサート予定 公演時間/60分 予定 内容：インド音楽、秘美な芸術・シンドウの吟遊詩人“末森英機”&ドラマティック・タブラの伝道師“ディネーシュ (Dinesh)”という異色のユニット、</p>

事業内容		<p>末森英機、ギターと歌、ディナーシュがタブラを担当します。</p> <p>【インドの代表的な民族楽器“タブラ”は世界一難しい打楽器と言われています。】</p> <p>コンサート通して世界の様々な問題に意識を高め、幅広く告知することで、国際理解への感心が深まり支援の輪が広がると思います。</p> <p>また、これまでボランティア活動の意識が希薄であった市民のボランティア意識が向上するとともに子どもたちのサポート活動の意識を共有することができます。</p>	
	外部講師等への依頼はありますか	なし / <input checked="" type="radio"/> あり、	(参加する市民の人数 45人)
準備スケジュール	4月	講師及び音楽の泉(出演者)検討	13人
	6月	会場、申請書提出	2人
	7月	講師決定・講師依頼、日程調整	3人
	9月	音楽の泉(出演者)決定、日程調整	5人
	10月	公演予定資料作成	3人
	12月	会場決定、公演チラシ作成	3人
	1月	会員に告知、チラシ配布	6人
	2月	受付/司会・進行、その他スタッフ決定、	13人
広報の計画及び方法	<p>1. 広報の計画</p> <p>100円募金活動を行う、(ピンに100円コインを入れて頂いた方にキーホルダーを差し上げます。)</p> <p>その他、各金額募金で差し上げる商品を考えています。</p> <p>2. 広報の方法</p> <p>インターネットを活用した情報発信</p> <p><input type="checkbox"/> (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> ()</p>		

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	30,000	参加入場料、1000円
寄附金収入		
補助金収入	42,810	市川市市民活動団体事業補助金
物販募金	2,810	330円募金×2、250円募金×1、100円募金×19
その他 (助成金等)	10,000	協賛金等
会費充当		団体の本会計より充当
合計	85,620	

2 【支出】

(単位：円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	30,000	30,000	出演者謝礼 15,000円×2人
交通費	19,620	19,620	2,180円×9人
消耗品費	3,000	3,000	用紙代1,600円、電池（時計用）700円、 フレーム（受付ブース用）700円
印刷製本費	17,100	17,100	チラシ1,500枚
通信運搬費	11,000	11,000	切手代110円×100通
保険料			
使用料 及び賃借料	4,900	4,900	I-Linkホール
原材料費			
合計	85,620	85,620	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

令和7年度の社会貢献活動にかかる事業報告

団体名称 “ナマステ楽団”

1. 事業の成果

音楽の泉 Vol. 2 「ぎたちゅー♪コンサート」の開催で、世界の子どもたちへの貧困と虐待からの脱出等のサポート及び途上国の子どもたちの教育支援を幅広く告知することで、国際理解への感心が深まり支援の輪が広がると思います。

また NPO 法人スマイルリング、理事長/堀田豊稔氏の講演会を実施することで、地域に密着した人権の意識推進、及び国内外で起きている様々な人道的問題に寄与しています。

2. 事業の実施に関する事項

(1)社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数(うち市民の数)	事業費の金額(円)
ナマステ楽団公演	インド音楽	2026年3月14予定	I-Linkホール	12人	30人(15人)	80,000円
市民まつり	地域との交流、心のふれあいを図り街づくりを推進する	2025年11月3日	大洲防災公園	6人	94人(94人)	44,000円
小計				18人	124人(109人)	124,000

(2)会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数	事業費の金額
小計						

合計	18人	36人	124,000
全活動に占める社会貢献活動の割合	100%	100%	100%

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に□チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に□チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない
	<input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また暴力団等に該当する有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

2025年12月8日

団体名 特定非営利活動法人 世界の胎音計

代表者名 XXXXXXXXXX

様式第1号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和7年11月17日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人M&M Table
 代表者名 XXXXXXXXXX
 所在地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

かしわい文庫（柏井公民館へ設置の私設本棚）

2 補助対象事業の概要

(1) 事業の目的及び必要性

【目的】 図書室を擁しない柏井公民館に私設本棚を設置し、地域住民に対し恒常的な読書機会を創出するとともに、市民の生涯学習の一助に資することを目的とする。

【必要性】 公共図書館から地理的に最も遠く、かつ図書室を持たない柏井公民館が本事業の最適地である旨を生涯学習部（現教育振興部）との協議を通じて確認した。本事業は「市川市市民等の市政への参加の推進等に関する要綱」に定める市民活動及び協働の精神に基づき、行政サービスを補完し、市民による自治の役割を具体化するものである。

(2) 事業の内容及び管理・運営体制

項目	内容
設置場所	柏井公民館受付前に設置
貸出方法	無料貸出（図書館法準拠及び市との占有協定に基づく）、貸出手続きなし（人的理由による）※行政財産使用許可は年度毎に更新、占有協定の終期については特段定めていない。※本補助金採択に際し購入した書籍の破損・紛失については、当団体がその損害を賠償。
蔵書構成	蔵書数約 200 冊。推理、時代小説、絵本、ベストセラー等、利用者アンケートによるリクエストが多い分野を重視。
蔵書調達	当団体の予算による購入、当団体会員及び市図書館除籍本の寄付により運用。今後は一般市民からの寄付を募ることも視野に想定したいが、不要本の処分代行にならぬよう慎重に検討する。
管理体制	週に一度、本棚の整理と補充及び入れ替えを実施。整理時に写真撮影を行い、貸出・返却の照合作業を通じて運用実態を把握（現時点で紛失図書は皆無）。

(3) 事業効果 (令和6～7年度申請時までの運用実績)

項目	実績値	備考
月間貸出冊数	平均 40 冊	当団体調べ
蔵書回転率	2.4	市川市図書館全体の蔵書回転率 1.98 (令和6年度市川市図書館統計)
利用者層	柏井公民館年間利用者数約 13,000 人 (2階こども館との合算。生涯学習振興課調べ) に対して読書環境を提供。	※利用者アンケート集計結果 (2025年申請時現在) n=628 10歳代以下 7.7% 40歳代 7.7% 60歳代 61.5% 70歳代以上 23.1% ※男女比 男性 38.5% 女性 61.5%
アウトカム (利用者の声抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・普段本を読まないのだが、手近に本棚があることで読書機会が増えた (60代男性) ・サークル活動のついでに本を借りられるのは便利 (10代男性) ・蔵書冊数、特に時代小説を増やしてほしい (70代女性) ・絵本があるのはありがたいが少し古くてボロボロ (30代女性) ・人気の書籍が揃っているのは苦勞を感じる (60代男性) 	蔵書点検時、利用者に直接ヒアリングしたものを一部掲載した。

(4) 今後の課題及び展望

【課題】

1. 蔵書構成に関する課題

予算の制約：団体本会計の予算のみでは、利用者アンケートで要望の多い図書(文学賞作品、ミステリー、暮らし、エッセイ、時代小説、絵本、ベストセラー等)の迅速な拡充と蔵書構成のアップデートが困難。

絵本の特殊な需要：特に絵本は、利用に伴う破損や衛生面(室内犬やこどもが噛む)から入れ替え需要が高い状況。

蔵書選定の方針：利用者アンケートに依拠しすぎると「営業性貸本屋の無料版」となる懸念があり、今後は市図書館司書からの専門的なアドバイスを受け、バランスの取れた蔵書構成を目指す。

2. 蔵書点検・補充に関する課題

実施目的：週に一度の蔵書点検および補充は、市側懸念(不要本の持ち込み等)への対応と、当該本棚の利用実態把握のために実施。

運営コスト：当団体が限られた人員で実施しているため、当該業務のコスト負担が大きいことが課題。

今後の対応：稼働可能人員の増加などにより、体制強化とコスト負担の軽減を検討する。

【展望】

1. **蔵書拡充と衛生管理**：補助金を活用し、利用者リクエストに応じた蔵書の拡充と、絵本等の衛生的な入れ替えを推進し、利用満足度の向上を図る。
2. **事業拡大**：市内に図書室のない他公民館（菅野公民館、若宮公民館）への「私設本棚」拡大を視野に入れる。事業拡大にあたっては、行政財産の占有及び管理方法等について、教育振興部及び関係部署との調整・協働を継続的に進める必要がある。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 168,358 円

5 補助対象経費総額 168,358 円

6 交付申請額 84,179 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

様式第2号 (第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団 体 名	特定非営利活動法人 M&M T a b l e		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	[REDACTED]		
	【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他 () 】		
その他事務所の所在地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="radio"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="radio"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	令和6年8月26日	会 員 数	11名 (令和7年11月現在)
ホームページ	https://note.com/npo_mm_table	E - m a i l	npo_mmtable@gmail.com
会報等の発行	有 (回 発行) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	<p>当団体は文化芸術に関する交流の場を広く設け、豊かな人間性とコミュニケーション能力を育むことを目的とする。この目的のもと、若い世代を中心に地域で活動できる場をつくり、様々な知識と教養を身につける機会を提供する。これによって、高齢化している地域コミュニティの活性化と社会関係資本(地域・人・信頼関係)の強化、お互いを認め合う心豊かな社会を目指すことを志しています。</p> <p>(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(<input checked="" type="checkbox"/> はい ・ <input type="checkbox"/> いいえ)</p>		

主な事業内容	(1) 地域連携による文化芸術振興事業 (2) 読書サロンやこども食堂等の居場所づくり事業 (3) 文化芸術に関するワークショップやイベント等の企画・実施事業 (4) 文化芸術に関する広告、出版、映像等の企画・制作事業 (5) その他目的を達成するために必要な事業
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください(自由記載)。	【令和7年度】 ・市民提案型図書館推し企画採択事業 いちかわのほほん古本市(中央図書館) ・こども食堂(月一回 団体事務所) ・てるぼサロン(月一回 団体事務所) ・小学生へ向けた夏休みワークショップ(八幡市民交流館ニコット) ・ボードゲームサークル(月一回 西部公民館) ・推し本語り(月一回 団体事務所/八幡市民交流館ニコット) ・菅野市 with ICHICO(菅野駅北口公園) ・かしわい文庫(私設本棚) ・M&Mツアー(中高生対象) ・推し本語りアフタートーク(YouTube) こどもたちが楽しめることを軸に社会教育や文化芸術活動を通して、こどもたちの居場所づくりや仲間づくりのお手伝いを市民活動として志している団体です。 ・市川市子どもの居場所づくり支援事業補助金
団体の特徴、アピールをしたいこと等	任意団体から特定非営利活動法人として法人成りをして、地域や行政との連携を強化し、次世代を担うこどもたちの居場所づくりに積極的に取り組んでいます。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	優先順を1、2、3で記入してください。 (1) E-mail ・ () FAX ・ (2) 郵送

3 役員名簿(別紙添付可)

役職	役員氏名	事業における役割	住所
理事長			
副理事長			
理事			
監事			
会員			
会員			
会員			
会員			

会員	[Redacted]
会員	
会員	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	かしわい文庫 (柏井公民館へ設置の私設本棚)
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
解決したい地域課 題は何ですか	公共図書館から最も遠い市内北部住民の恒常的な読書機会
地域課題により困 っている人は誰で すか	公共図書館から最も遠い市内北部住民
事業を行う目的は 何ですか	図書室を擁しない柏井公民館に私設本棚を設置し、地域住民に対し恒常的な読書機会を創出するとともに、市民の生涯学習の一助に資することを目的とする。
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 <u>その他</u> : 図書室を擁しない柏井公民館への施設本棚の設置
事業の主体 (該当するものに○)	<u>当該団体</u> /市の他課 /他の団体 /その他 () 上記に関する補足

改善状況		審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること）		
		指摘 <input checked="" type="checkbox"/> なし	指摘 あり	改善策
事業 内 容	事業の 対象者 は誰で すか	柏井公民館利用者 (参加想定人数 13,000 人/年)		
	事業は いつ行 います か	通年		
	事業は どこで 行いま すか	柏井公民館		
	事業を どのよ うに行 います か (事業 の内容 を具体 的に記 載して くださ い。)	<p>【設置場所】 柏井公民館受付前に設置</p> <p>【貸出方法】 無料貸出（図書館法準拠及び市との占有協定に基づく）、貸出手続きなし（人的理由による）※行政財産使用許可は年度毎に更新、占有協定の終期については特段定めていない。※本補助金採択に際し購入した書籍の破損・紛失については、当団体がその損害を賠償します。</p> <p>【蔵書構成】 蔵書数約 200 冊。時代小説、絵本、ベストセラー等、利用者アンケートによるリクエストが多い分野を重視。</p> <p>【蔵書調達】 当団体の予算による購入、当団体会員及び市図書館除籍本の寄付により運用。今後は一般市民からの寄付を募ることも視野に想定したいが、不要本の処分代行にならぬよう慎重に検討している。</p> <p>【管理体制】 週に一度、本棚の整理と補充及び入れ替えを実施。整理時に写真撮影を行い、貸出・返却の照合作業を通じて運用実態を把握（現時点で紛失図書は皆無）。</p>		
	外部講 師等へ の依頼 はあり ますか	<input checked="" type="checkbox"/> なし / あり (参加する市民の人数 人)		

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	蔵書構成検討 市図書館司書への相談 本棚購入、設置	11名
	5月	以下は通年において実施	
	6月	・書籍購入	
	7月	・本棚整理、書籍補充、書籍入れ替え	
	8月	・利用者アンケートの回収及び集計	
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
広報の計画 及び方法		<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画 (別紙添付可) 柏井公民館利用者に対する新書籍入荷の案内 (随時) 柏井公民館サークル毎に有している棚への利用案内配布</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、 ツイッター等)</p> <p><input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ (市民の広場) に掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	

様式第4号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収入】

(単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	かしわい文庫の利用は無料とする条件で市川市と約束をしている
寄附金収入	10,000	会員及び一般からの寄付金
補助金収入	84,179	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	74,179	団体の本会計より充当
合計	168,358	

2 【支出】

(単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	0	0	
交通費	46,080	46,080	柏井公民館へ本棚の整備補充の交通費 1回あたり経路(JR本八幡～下総中山 150円+下総中山～柏井本村 330円)×2=960円×4(週)×12(ヶ月)=46,080円
消耗品費	112,878	112,878	文庫本1,500円×30冊(概算)、絵本2,000円×20冊(概算)、※書籍価格及び購入冊数の根拠 昨今の書籍の平均価格、当団体令和7年度購入冊数と団体本会計とのコストバランスによる。また、書籍の状態によっては古本も視野に想定している。本棚8,000円×2台、コピー用紙 3,000円(スマホで回答できない方用アンケート用紙、管理ラベル、チラシなど)、プリンターインク3,000円×2、ブックエンド220円×4、本棚転倒防止用L字アングル1,998円
印刷製本費	9,400	9,400	アンケート用QRコード入りオリジナル葉制作・印刷 1,000部
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料 及び賃借料	0	0	
原材料費	0	0	
合計	168,358	168,358	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和7年11月17日

団体名

代表者名

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2025年11月25日

市川市長

団体名：実践人市川読書会

代表者名：[REDACTED]

所在地：[REDACTED]

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助対象事業の名称：第3回 実践人市川読書会研修会（講演会&上映会）
二宮金次郎に学ぶ（その三）
- 2 補助対象事業の概要：
（目的）：森信三先生（明治29年～平成4年）は、教育者・哲学者であり、国民の師匠として
仰ぎ尊敬されている。その森教学を、講演会及び上映会を通じて市民に広く普及
する。
（内容）：森信三先生は、二宮金次郎の生き方を賞賛している。
第一部講演会では、二宮金次郎を通じて、日本の成功哲学を学ぶ。
第二部上映会では、映像を通じて、金次郎の生き様を印象深く学ぶ。
（効果）：斯かる生涯教育は、1回の講演会や上映会の短期間で目に見えて効果の現れるもの
ではない。しかしながら、この種教育を継続していると中江藤樹の村のように
「市民の生き様」が変わってくるものと確信している。同講演会や上映会を通じて
社会の一隅を照らし、徐々に世の中が変革することを期待している。
- 3 申請に係る補助対象事業の申請回数
（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上
- 4 補助対象事業費総額 342,000 円
- 5 補助対象経費総額 262,000 円
- 6 交付申請額 131,000 円
- 7 添付書類
 - (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
 - (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
 - (4) 規約、会則、定款等の写し
 - (5) その他市長が必要と認める書類

様式第2号 (第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調査

1 団体の概要

団 体 名	実践人市川読書会																																										
代 表 者 氏 名	[REDACTED]																																										
主たる事務所の所在地	[REDACTED] 【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他 () 】																																										
その他事務所の所在地	なし																																										
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>			<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																										
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																										
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																										
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																										
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																										
<input type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																										
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																										
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																										
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																										
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																										
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																										
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																										
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																										
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																										
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																										
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																										
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																										
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																										
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																										
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																										
設 立 年 月 日	2017年10月	会 員 数	13名 (2025年11月現在)																																								
ホームページ	あり	E - m a i l	unotom@fine.ocn.ne.jp																																								
会報等の発行	有 (回 発行) ・ 無																																										
団体の活動目的	森信三先生 (森教学) を学び、実践し、それを市民に啓蒙・普及活動を行う。																																										
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動 (不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(はい ・ いいえ)																																										

主な事業内容	<p>(1) 毎月第3土曜日に読書会を開催する。テキストは、森信三先生著作「修身教授録」を使用する。</p> <p>(2) 毎年1回講演会を開催する。</p> <p>(3) DVD「二宮金次郎」の上映会を2か月ごとに実施する。</p>
<p>これまでの主な活動実績</p> <p>団体の主たる取組を簡潔に記載してください。</p> <p>これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください(自由記載)。</p>	<p>(活動実績)</p> <p>(1) 毎月の読書会：2017年；5回、26名、2018年；9回、64名、2020年；8回・50名、2021年；12回・60名、2022年；11回、94名、2023年；12回・74名、2024年；11回・64名</p> <p>(2) 講演会：①2018年12月、講師・玉田泰之氏(森信三先生の愛弟子)、参加者・34名 ②2024年4月、講師・前田寿紀、映画「二宮金次郎」上映会、参加者・102名 ③2025年4月、講師・五十嵐匠、映画「二宮金次郎」上映会、参加者・113名</p> <p>(3) DVD「二宮金次郎」上映会：2023年度；7回実施、参加者・84名、2024年度；10回実施、参加者・226名</p> <p>(補助金受領：)</p> <p>2023年度・114,410円、2025年度・46,529円受領しました。</p>
団体の特徴、アピールをしたいこと等	<p>(1) 一人で読書し学びを継続することは困難であるが、日時を決め仲間と一緒にであれば、学び続けることは容易である。</p> <p>(2) 読書後、意見交換することで各自の異なった意見を聴取でき、ヒントを得ることが出来る。</p>

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	<p>優先順を1、2、3で記入してください。</p> <p>(1) E-mail ・ (2) 電話 ・ (3) 郵送</p>

3 役員名簿(別紙添付可)

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
代表			
幹事			
幹事			
幹事			
監事			

様式第3号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	第3回 実践人市川読書会研修会（講演会&上映会） 二宮金次郎に学ぶ（その三）																																								
補助対象事業が該 当する分野 （該当分野に✓）	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	講演会、上映会を通じて偉人伝を学ぶことで、自分中心の考え方を捨て、本来の日本人の在り方を学び身に付け、実践すること。																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	人生の指針及び人生観が確立出来ておらず、それらを求めている人。																																								
事業を行う目的は 何ですか	日本人としての知性、教養及び品格の向上を目指す。																																								
事業の実施方法 （該当するものに○、例 示以外は具体的に記載）	<p> <input checked="" type="checkbox"/>講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 <input checked="" type="checkbox"/>大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 <input checked="" type="checkbox"/>フェスティバル 保全活動 </p> <p>その他：<input checked="" type="checkbox"/>映画の上映</p>																																								
事業の主体 （該当するものに○）	<input checked="" type="checkbox"/> 当該団体 /市の他課 /他の団体 /その他（ ） 上記に関する補足																																								

改善状況		審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること）
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">指摘なし</div> <div style="text-align: center;">/</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指摘あり</div> </div> 改善策
事業内容	事業の <u>対象者</u> は誰ですか	市川及び近隣の市民（学生及び一般人） (参加想定人数 100人)
	事業はいつ行いますか	2026年4月25日（土）
	事業は <u>どこで</u> 行いますか	全日警ホール（市川市八幡市民会館）
	事業を <u>どのよ</u> うに行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	第一部：講演会 講師・松沢成文氏を招聘し、「教養として知っておきたい二宮尊徳」と題して講演をして頂く。参加者には、レジメを配布し、講演の理解度を深める。 第二部：上映会 「二宮金次郎」の映画を上映して、その中の感動シーンを通じて、より深く金次郎の生き様を学ぶ。
	外部講師等への依頼はありますか	なし / <input checked="" type="checkbox"/> あり (参加する市民の人数 70人)

	(やること)	(担当人数)	
準備スケジュール (別紙添付可)	(時期) 2025年 3月	会場の確保 出講講師の選任・確認	1人 1人
	12月	後援、共催団体からの了解取り付け チラシ原稿打合せ	1人 3人
	12月	チラシ印刷手配(6,000枚) チラシ配布の開始	1人 5人
	2026年 1月から	参加者申込受付	1人
	4月	会場打合せ 配布資料の編集及び印刷	3人 5人
	広報の計画 及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画(別紙添付可) 共催、後援団体にチラシの配布及び参加呼びかけを要請する。</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信</p> <p>(ボランティア・NPOWeb) ホームページ、Facebook、ツイッター等</p> <p><input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 その他 ()</p>	

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（2R）

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	210,000	参加料1,500円X140人
寄附金収入		
補助金収入	131,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	1,000	団体の本会計より充当
合 計	342,000	

2 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	100,000	70,000	講師：80,000円、司会20,000円
交通費	2,000	2,000	駐車料金等
消耗品費	30,000	30,000	用紙、封筒・10,000円、雑費・10,000円、テープ等・10,000円
印刷製本費	20,000	20,000	チラシ・6,000枚印刷・レジメ印刷
通信運搬費	20,000	20,000	チラシ送料（宅配、郵送）
使用・賃貸料	130,000	110,000	上映フィルム借用（110,000円）、会場費（20,000円）
その他経費	40,000	10,000	HP修正費10,000円、反省打ち合わせ費30,000
合 計	342,000	262,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)
 令和7年(2025年)度の見込み事業報告
 団体名称:実践人市川読書会

1. 事業の成果

- (1) 月例読書会開催(2025年4月~2026年3月):12回、参加者延べ見込み・72名
 (2) DVD「二宮金次郎」の上映会実施(2025年4月~2026年3月):7回・参加者見込み・75名
 (3) 講演会&上映会(2025年4月):参加者・113名

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
講演会&上映会	講師:五十嵐匠、映画「二宮金次郎」上映	2025年4月26日	全日警ホール	20人	113人 (70人)	215,116
二宮金次郎上映会	DVD「二宮金次郎」上映会	2025年4月~2026年3月(7回)	市川市役所等	21人	75人 (30人)	47,000
小計				41人 (a)	188人(b) (100人)	262,116(c)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
月例読書会	「修身教授録」&「一日一語」の輪読と意見交換/12回	毎月第3土曜日午前10時~12時	NPO会議室	36人	72人 (43人)	27,000
				人	人	
				人	人	
				人	人	
小計				36人 (d)	72人(e) (43人)	27,000(f)
合計				(a)+(d)=(g) 77	(b)+(e)=(h) 260	(c)+(f)=(i) 289,116

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	53%	72%	91%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施する <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の50%以上は市川市民を予定している <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

2025年11月25日

団体名：実践人市川読書会

代表者名： XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2026年 1 月 6日

市川市長

団 体 名 行徳郷土文化懇話会
代 表 者 名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称 行徳の歴史の伝承と次世代への継承

2 補助対象事業の概要

（補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。）

〈課題・目的・効果〉

貴重な歴史背景を持つ行徳の町について市民にあまり知られていない現状がある中で
行徳・浦安三十三カ所観音札所巡りを毎年開催し、また町の歴史に関する資料作り、
講演会を行うことにより、市民の関心を喚起し、歴史文化への理解を深め、継承を促進
する。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / ○4回以上

4 補助対象事業費総額 308,840 円

5 補助対象経費総額 218,840 円

6 交付申請額 109,420 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

様式第2号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団 体 名	行徳郷土文化懇話会		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	[REDACTED]		
	【 ○専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ） 】		
その他事務所の所在地			
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input type="checkbox"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="radio"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input checked="" type="radio"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	1979年7月15日	会 員 数	23名（2025年1月現在）
ホームページ	Facebook ページあり	E - m a i l	gyoubunkon@gmail.com
会報等の発行	◎有（年1回発行） ・ 無		
団体の活動目的	行徳に伝わる伝承や郷土の習慣を研究し、後世のために継承していく。 広く市川市民に行徳を知ってもらう機会を提供し、地域の活性化につなげる。		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	（注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ ○はい ・ いいえ ）		

主な事業内容	行徳の寺町を紹介するための「行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り」、行徳の海苔づくり体験、地元で昔から住んでいる方に寄稿していただく会報、行徳の歴史に関する講習会を開催。行徳町づくり協議会と共催で神社めぐり、寺町回遊展を開催。郷土の資料研究、各団体への提供などを行っている。
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	(1) 「行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り」 江戸時代から行われていた観音札所巡りを昭和59年に復活させ、昨年度で34回目の開催 (2) 行文懇講座の開催 行徳の歴史、舟運、神輿などに関する講演会の開催 (3) 研修会 行徳に歴史的に所縁がある地域への研修 (4) 会報の発行 地域の歴史、口伝などをまとめた会報誌を発行し記録としていく。 (5) 地域の子どもたちへの歴史継承 地域の小学校での地元の歴史文化を伝える講演 (6) 地元団体への協力 海苔すき体験、神社めぐり、市川市芸術文化協会など
団体の特徴、アピールをしたいこと等	行徳に長く住んでいる方が多いので、内部での勉強会での成果を会として発信し、地域の歴史文化研究に寄与しています。市民が行徳という地域に興味を持ち、町を盛り上げていくきっかけの場を提供しています。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	電話	()	F A X	()
連絡責任者				
E - m a i l				
連絡手段の優先度	優先順を1、2、3で記入してください。 (1) E-mail ・ (×) FAX ・ (2) 郵送			

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
会長			
副会長			
副会長			
会計			
監査			
事務局長			
名誉会長			

様式第3号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	行徳の歴史の伝承と次世代への継承																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進	<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	4 観光の振興	<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興	<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	<input type="checkbox"/>	7 環境の保全	<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動	<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保	<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進	<input type="checkbox"/>	11 国際協力	<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進	<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成	<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展	<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興	<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化	<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護	<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
<input type="checkbox"/>	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	2 社会教育の推進																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	3 まちづくりの推進																																								
<input type="checkbox"/>	4 観光の振興																																								
<input type="checkbox"/>	5 農業又は水産業の振興																																								
<input checked="" type="checkbox"/>	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
<input type="checkbox"/>	7 環境の保全																																								
<input type="checkbox"/>	8 災害救援活動																																								
<input type="checkbox"/>	9 地域の安全の確保																																								
<input type="checkbox"/>	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
<input type="checkbox"/>	11 国際協力																																								
<input type="checkbox"/>	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
<input type="checkbox"/>	13 子どもの健全育成																																								
<input type="checkbox"/>	14 情報化社会の発展																																								
<input type="checkbox"/>	15 科学技術の振興																																								
<input type="checkbox"/>	16 経済活動の活性化																																								
<input type="checkbox"/>	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	18 消費者の保護																																								
<input type="checkbox"/>	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
<input type="checkbox"/>	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	市川市南部に位置する行徳地区には古くからの歴史があるが、その頃の町並みは消え、歴史の軌跡が失われつつある。新しい町の住人も増え、そこに住む人たちは古い町のことを知らない。こういった状況では町はただ住む場所となり文化が継承されない、文化のない町は発展していかないと考える。また、江戸川放水路で分断されてしまった市川市北部の住人も行徳という地域に対する認識不足を実感している。																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	行政および市川市民																																								
事業を行う目的は 何ですか	行徳という町がその歴史と文化を町の魅力とアピールポイントとしていく事が出来るよう、伝承、口伝、文化を記録し、市民がそれを学べる場所を提供する。会報「もしおぐさ」にその記録を残し、各図書館、小中学校に提供、市民への販売を通して後世に伝えていく。																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	○講演会 セミナー 講座 研修会 ○ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 ○体験学習 フェスティバル 保全活動 その他：																																								
事業の主体 (該当するものに○)	○当該団体 /市の他課 /他の団体 /その他 () 上記に関する補足																																								

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） 指摘なし / 指摘あり	改善策
事業内容	事業の <u>対象者</u> は誰ですか	市川市民、並びに市川、行徳に興味を持ってくれる人 （参加想定人数 150 人）
	事業はいつ行 いますか	行徳・浦安三十三カ所観音札所巡りは4月に2回、5月に1回行う。 講演会を年4回、研修会は秋～冬に行う予定。会報は1月発行予定
	事業はどこで 行いますか	行徳・浦安三十三カ所観音札所巡りは妙典～行徳～浦安～原木中山。 講演会は地域公民館、または行徳文化ホールを予定、江戸川の舟運体験と講演会は屋形船を借りる予定。
	事業をどのよ <u>うに行います</u> か （事業の内容 を具体的に記 載してくださ い。）	(1) 行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り 4月、5月に合計3日に分けて札所を巡る。 (2) 行文懇講座 行徳の歴史・文化をやさしく学ぶ 「祭・神輿」、「舟運」、「札所巡り」、「地図から学ぶ行徳今昔」、 「江戸時代のインフラ整備と武士団の活躍」と行ってきた。令和八年度内容については検討中 (3) 会報作り 会員向けだけではなく、地域の学校や図書館、関係団体にも 行徳を知ってもらうきっかけとなる会報作りを目指す。 (4) 市川市芸術文化団体協議会文化祭参加 行徳神輿の展示並びに解説
外部講師等へ の依頼はあり ますか	なし / ○あり （参加する市民の人数 150 人）	

資料1-4

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り 1回目、2回目	12人
	5月	行徳・浦安三十三カ所観音札所巡 三回目	12人
	6月		
	7月	会報・寄稿文募集開始 市民向け行文懇講座	5人 12人
	8月		
	9月		
	10月	市民向け行文懇講座	12人
	11月	行徳・神社めぐり手伝い	10人
	12月	会報発行	4人
	1月	行文懇講座	13人
	2月	行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り 下見 研修会	5人 10人
	3月	行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り 下見、各寺あいさつ	6人
広報の計画 及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画 (別紙添付可) 「行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り」はフェイスブックページにて告知、 「行文懇講座」の募集方法は募集人数によるが、地元フリーペーパー、またはフェイスブックページにて告知</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input type="checkbox"/> ○インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等)</p> <p><input type="checkbox"/> ○フリーペーパーへの掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 ○公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>		

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	170,000	三十三カ所札所巡り参加費1000円X30名X3日=90,000円、講演会参加費500円X30名X4回=60,000円、もしおぐさ販売500円X40冊=20,000円
寄附金収入	0	
補助金収入	109,420	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	29,420	団体の本会計より充当
合 計	308,840	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	40,000	40,000	講師謝礼10,000円X4
交通費	25,000	25,000	三十三カ所巡り、神社めぐり、市川芸術文化協会参加交通費
消耗品費	18,000	18,000	コピー用紙1,000円、プリンターインク5,000円X3、文房具2,000円
印刷製本費	57,500	57,500	三十三カ所巡りしおり50部=1,500円、行文懇講座資料12,000円、会報150部40,000円、行文懇講座チラシ4,000円、
通信運搬費	22,400	22,400	資料送付用レターバック430円X20=8,600円、寺社挨拶状用切手110円X30=3,300円、会報送付用切手代210円X50=10,500円
保険料	3,300	3,300	三十三カ所巡り団体保険1日1,100円X3日
使用料 及び賃借料	52,640	52,640	行徳文化ホール会場使用料5,610円、マイク等機材レンタル代9,830円、行徳公民館会場使用料2,400円X3=7,200円、屋形船使用料30,000円
原材料費			
寺社お礼	90,000		
合 計	308,840	218,840	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和 7 年度の事業報告

団体名称 行徳郷土文化懇話会

1. 事業の成果

行徳・浦安・行徳三十三カ所札所巡りは令和7年度で35回目、毎年参加してくださる方もいれば、初めて参加して地元のお寺の多さ、歴史に驚く方もいる。札所巡りをきっかけとして行文懇講座に参加する方もいたりと地元に関心を持つきっかけを提供できたと感じる。また、研修、会内での座談会などを通し、行徳の歴史、文化に対する理解を深めることができ、それを会報などを通して市民に提供できたとと思う。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
行徳・浦安・行徳三十三カ所札所巡り	行徳～浦安～原木中山～船橋法典の寺を巡る	4月7日、11日、5月12日	行徳～浦安～原木中山～船橋法典	36人	63人 (60人)	64,800
行文懇講座	江戸初期の行徳のまちのインフラ整備と行徳の武士団の活躍	8月24日	行徳公民館	8人	13人 (13人)	15,400
行文懇講座	屋形船で江戸川を巡る舟運体験	12月21日	旧江戸川	13人	64人 (60人)	集計中
小計				57人 (a)	140人(b) (133人)	80,200 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
定例会	事業計画、報告、勉強会、座談会など	毎月	田中愛子邸	166人	156人 (144人)	8,600
研修会	成田に鷹匠を訪ねる	2月予定		人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				166人 (d)	156人(e) (144人)	8,600 (f)
合計				(a)+(d)=(g) 213	(b)+(e)=(h) 296	(c)+(f)=(i) 88,800

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
※ 小数点以下は四捨五入してください。	27%	47%	90%

様式第1号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2026年 1月 5日

市川市長

団体名 いちかわみんなのほけんしつ実行委員会
 代表者名 XXXXXXXXXX
 所在地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室開催事業

2 補助対象事業の概要

（補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
 別紙添付可。）

活動の目的は、町の中で、メンタルヘルスの専門家を含むボランティアスタッフのいる誰もが無料で利用できる「暮らしや健康に関する相談窓口」・「安心の居場所」・「癒しの場」・「在宅医療や病気予防について市民との学びの場」・「地域ボランティアの育成の場」、「世代や専門・職種を超えてつながる交流の場」として保健室を開きます。内容としては、心身の病気になる前もしくは再発を予防するために気軽に立ち寄れる場を開催しています。5人に1人が生涯で何らかの精神疾患に罹患すると言われるが、その予防や早期相談が充分に行われていない。また、障害があると社会から孤立してしまうという社会課題があります、その課題を本事業で少しでも解決したいと考えます。本活動は全国で行われている「暮らしの保健室」<https://kuraho.jp/>を参考にしています。

なお、講演会は本事業の「活動報告会」に学びの要素を取り入れたものを年に1回行います。また、ワークショップはボランティアの研修を市民を招いて行うという主旨ですので、ボランティアの育成の部分になります。宿泊型保健室は、居場所として話す・聞くという方法だけでなく、安心して「食べる」・「寝る」という要素を取り入れた暮らしの保健室ということを考えています。心の健康を保つ場合、この二つの要素を取り入れて対応をした方がよいと考えています。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 566,420 円

5 補助対象経費総額 244,820 円

6 交付申請額 122,410 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

様式第2号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団 体 名	いちかわみんなのほけんしつ実行委員会		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他（ ） 】		
その他事務所の所在地			
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<input checked="" type="radio"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="radio"/> 3 まちづくりの推進 <input type="radio"/> 4 観光の振興 <input type="radio"/> 5 農業又は水産業の振興 <input type="radio"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="radio"/> 7 環境の保全 <input type="radio"/> 8 災害救援活動 <input type="radio"/> 9 地域の安全の確保 <input type="radio"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="radio"/> 11 国際協力 <input type="radio"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="radio"/> 13 子どもの健全育成 <input type="radio"/> 14 情報化社会の発展 <input type="radio"/> 15 科学技術の振興 <input type="radio"/> 16 経済活動の活性化 <input type="radio"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="radio"/> 18 消費者の保護 <input type="radio"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="radio"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	2020年5月7日	会 員 数	6名：ボランティア含めると 36名（2026年1月現在）
ホームページ	https://minhoke.hp.peraichi.com/	E - m a i l	infominhoke@gmail.com
会報等の発行	<u>有</u> （年1回発行） ・ 無		
団体の活動目的	活動の目的は、町の中で、メンタルヘルスの専門家を含むボランティアスタッフのいる誰もが無料で利用できる保健室（相談窓口・居場所）を開きます。内容としては、心身の病気になる前もしくは再発を予防するために気軽に立ち寄れる場を開催しています。		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	（注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ <u>はい</u> ・ いいえ ）		

主な事業内容	2020年7月～現在まで、予約なし無料で利用できる、メンタルヘルスの医療専門職のいる保健室を平日の週1回2時間、月1回の土曜日2時間、定期開催しています。メンタルヘルスに関するイベント実施、対話に関するワークショップも行いました。
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	<p>ポスター制作：見るだけでも心が落ち着くポスターを作成しようと、メンタルヘルスの専門家とデザイナーと市民の意見を合わせて2020年5月よりポスターを作成し、近隣の小学校（市川小、真間小）で配布してたり近隣にポスティングしたりしました。2023年6月に新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことを受け言葉を変更したものを再度作成しました。</p> <p>保健室開催：2020年7月～2025年7月まで計278回開催し、延べ1,169年名が参加されました。</p> <p>保健室イベント開催：2020年7月～2025年12月までメンタルヘルスに関わるテーマでのイベントを企画するもしくは、参加することを計13回行いました。</p> <p>スタッフ研修会：ボランティアスタッフの研修会を2020年7月より2023年9月まで月1回開催しています。（2024年度からは対話のワークショップに移行）</p> <p>アンケート、報告書の作成：年1回アンケートを実施し、その結果及び活動の報告書を作成しました。</p> <p>ミニ講座開催：2023年6月より対話についての市民向けのミニ講座を計5回行っています。</p> <p>2024年度に対話のワークショップ（スタッフの講習会を兼ねる）を6回実施しました。2025年度に対話のワークショップ（スタッフの講習会を兼ねる）を3回実施しました。2025年10月に時代の変化に合わせてチラシの文言を市民から募集し、新たなチラシを作成しました。これまでに団体としていちサポ以外で受けた補助金はありません。</p>
団体の特徴、アピールをしたいこと等	国家資格のある精神保健福祉の専門家（医師、看護師、精神保健福祉士等）もボランティアとして参加しており、安心安全な場を提供しています。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E-mail	
連絡手段の優先度	優先順を1、2、3で記入してください。 (1) E-mail ・ (3) FAX ・ (2) 郵送

3 役員名簿（別紙添付可）

役職	役員氏名	事業における役割	住所
会長			
副会長			
監査役			

様式第3号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室開催事業
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<input checked="" type="radio"/> 1 保健、医療又は福祉の増進 <input type="radio"/> 2 社会教育の推進 <input type="radio"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農業又は水産業の振興 <input type="checkbox"/> 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域の安全の確保 <input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="radio"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 <input type="checkbox"/> 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
解決したい地域課 題は何ですか	幼少期に約半数の人が心の傷つきを家庭で経験しており、5人に1人が生涯で何らかの精神疾患に罹患すると言われるが、その予防や早期相談が充分に行われていないという社会課題があります。また、精神疾患のある方への関わり方や病気との付き合い方が分からないため、その方が周囲から孤立してしまうという社会課題もあります。それらの課題の解決を本事業で少しでも行いたいと考えます。
地域課題により困 っている人は誰で すか	身体的、精神的な困難がある方で、心身のケア、心の傷つきへの配慮が必要な人
事業を行う目的は 何ですか	専門の枠を越えて、誰もが精神的な困難な状況がある時に、心のケアや心の傷つきへの配慮を適切にしてもらいながら相談したり過ごしたりできる場を作ること。このことで健康、とりわけこころの健康について関心のある人が集い、多様性を活かし、安心できる豊かな人とのつながりを育む。
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会 <input type="checkbox"/> セミナー <input type="checkbox"/> 講座 <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> 大会開催 <input type="checkbox"/> 発表会 <input type="checkbox"/> コンサート <input type="checkbox"/> 訓練・養成 <input type="checkbox"/> 体験学習 <input type="checkbox"/> フェスティバル <input type="checkbox"/> 保全活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 保健室および宿泊型保健室を町の中で定期的に開催する
事業の主体 (該当するものに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足
改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること）

		指摘 なし	指摘 あり
事業 内 容	事業の対象者は誰ですか	保健室を利用する人、保健室のボランティアスタッフ、講演会やワークショップの参加者 (参加想定人数 延べ 445人：内訳ワークショップ75+保健室325+講演会20+宿泊体験①10+宿泊体験②10+宿泊体験③5)	
	事業はいつ行いますか	講演会：2026年8月、2027年2月(2回) 保健室(いちかわみんなのほけんしつ)：2026年4月～2027年3月まで毎週木曜日(年末年始除く)11:00-13:00、月1回土曜日14:00-16:00(計65回) 宿泊型保健室(泊まれる保健室)：2026年6月、12月(計2回) ワークショップ：2025年9月、10月、11月(計3回)	
	事業はどこで行いますか	保健室はわたしのほけんしつ yo-ha-ku、もしくは、ヨガ&カフェ Bresにて行います 宿泊型保健室は年自然の家を利用して行います ワークショップおよび講演会は市川市文化会館もしくは橘 gallery(安国院)を利用します。	
	事業をどのように行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	<p>実行委員会1-2名とボランティアスタッフ1-2名でいちかわみんなのほけんしつを開催します。</p> <p>宿泊型保健室は宿泊施設を借りて、実行員会2名とボランティアスタッフ1-2名、参加者1-2名程、体験学習をする場合講師を1名程お招きして行います。</p> <p>実行委員会2名とボランティアスタッフ数名で対話についてのワークショップ(ボランティアスタッフの勉強会を兼ねる)を連続で3回開催します。3回目のみ講師(オープンダイアログのトレーナーである精神科医)をお呼びします。</p> <p>8月に実行委員数名、ボランティアスタッフ数名で活動報告会およびボランティア説明会、対話の言葉カードを使った安心安全な対話をともに学ぶ会の体験会(ボランティア研修会)を開催します。 2月に実行員会3名とボランティアスタッフ数名、講師1名(千葉県産科婦人科医学会の性教育委員会の運営委員の先生)をお招きし活動報告会兼講演会を行います。</p> <p>事務手続きなどは実行員とボランティアスタッフ2名が行います。</p> <p>google フォーム等を用いてアンケートを実施し、結果および活動報告をいたします。</p>	
	外部講師等への依頼はありますか	なし / <u>あり</u> (参加する市民の人数 30人)	

資料1-5

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	継続的な情報発信(広告) 町の中の保健室～2027年3月まで	2名 各回2-3名
	5月		
	6月	宿泊型保健室(少年自然の家)	3名
	7月		
	8月	講演会+活動報告会+対話のワークショップ体験会	約4名
	9月	対話のワークショップ①	8名
	10月	対話のワークショップ②	8名
	11月	対話のワークショップ③	8名
	12月	宿泊型保健室(少年自然の家)	約4名
	1月		
	2月	講演会	約4名
	3月	その他事務手続きは随時	3名
	広報の計画及び方法	<p>※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。</p> <p>1 広報の計画(別紙添付可) ポスター・チラシ(別紙)の配布(7月:活動報告会、対話ワークショップ、4月、10月宿泊型保健室)、 公式LINEおよびFacebook、Twitterによる情報の拡散</p> <p>2 広報の方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等) フリーペーパーへの掲載</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	238,000	ワークショップ158,000円、宿泊型保健室80,000円
寄附金収入	165,000	不定期の寄付のため追加もあり
補助金収入	122,410	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	41,010	繰越金より充填
合 計	566,420	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	125,000	60,000	講師料(講演会10,000円、宿泊型保健室15,000円※対象外、ワークショップ100,000円※うち50,000円は対象外)
交通費	13,000	13,000	カフェBres駐車場代12,000円 宿泊型保健室1,000円
消耗品費	30,100	4,500	飲み物代(320名×80円※対象外)対話の言葉カード3,500円、手指消毒用アルコール用品1,000円
印刷製本費	14,030	14,030	パンフレット作製・アンケート印刷費用 14,030円
通信運搬費	0	0	
保険料	6000	6000	宿泊型保健室の際の保険×2回分
使用料 及び賃借料	300,420	135,420	保健室217,800円※うち161,700円対象外、宿泊型保健室27,500円、活動報告会3,300円※対象外、ワークショップ51,820円
原材料費	0	0	
その他経費	77,870	11,870	Peatix手数料11,870円 公式LINE利用料5,500円×12※補助金対象外
合 計	566,420	244,820	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書(様式第11号)を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書(様式第12号)とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和7年度の事業報告

団体名称 いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

1. 事業の成果

2025年4月～12月まで述べ41回(2026年1-3月は14回予定)のいちかわみんなのほけんしつの保健室を開催し、延べ184名参加者がおられました。家族との関係や不登校、気分の落ち込み等の相談をお受けしました。この場所があるだけでホッとするという声も聴かれています。(12月まで総事業費167,451円)人数は12月末の実数を入力しています。

また、8月～11月まで延べ4回いちかわみんなのほけんしつボランティア研修会兼ワークショップを開きました。対話について学びが深まって良かったという声をいただいています。(総事業費191,330円)

宿泊型保健室を6月と12月(2026年3月に1回開催予定)に実施しました。森林浴もでき、身近なリトリートのような感覚があったという声がありました。(12月までの総事業費93,546円)

8月活动報告会(7名参加)は「このような活動をしているところがあると知れてよかった」というご意見をいただきました。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
いちかわみんなのほけんしつ・町の中の保健室開催事業	専門職のいる町の中で予約なし無料の相談窓口・居場所を提供	4月～12月、月一回土曜日 毎週木曜日計41回(3月まで継続予定)	わたしのほけんしつyo-haku ヨガ&カフェhres	123人	184人 (132人)	167,451
対話のワークショップ(兼ボランティア研修会)	対話の言葉カードを用いた体験型研修会を実施。	8月23日、9月28日、10月26日、11月30日	わたしのほけんしつyo-haku、橋gallery、市川市文化会館	25人	53人 (53人)	191,330
講演会および活動報告会	5年間の活動報告会を行いました	8月23日 (2026年2月開催予定)	わたしのほけんしつyo-haku、行徳総合病院(予定)	4人	7人 (7人)	3,200
宿泊型保健室	保健室として、安心安全な体験を宿泊を通して行うことを実施。	6月、12月、(3月予定)	Villa Myoden(行徳)、少年自然の家	5人	11人 (9人)	93,546
小計				157人 (a)	255人(b) (201人)	455,527(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				0人 (d)	0人(e) (0人)	0(f)
合計				(a) + (d) = (g) 157	(b) + (e) = (h) 255	(c) + (f) = (i) 455,527

全活動に占める社会貢献活動の割合

※ 小数点以下は四捨五入してください。

	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
	100%	100%	100%

事業番号	団体番号	事業名	団体の活動分野	事業の該当分野	子どもの健全育成																																																																																																																								
1	5	すがの会 高齢者がこども達の健全な心を育てる事業	4回目	13	子どもの健全育成																																																																																																																								
直近年度の申請内容（交付決定時）			令和3年度の申請内容																																																																																																																										
事業費総額	538,110	補助対象総額	320,732	交付申請額	150,000																																																																																																																								
<p>育てようこども達、大切にしようねお年寄り”をスローガンに、高齢になっても今までに培ってきた経験や知恵、技術そして心を、次世代を担うこども達に伝承し、少しでも役立つ生き方に生き甲斐を持って活動する事を目的としている。</p> <p>具体的な活動としては、市川民話と歴史の紙芝居と語り、星空観望とミニコンサートにおけるプロの音楽家による演奏と星空案内人による天体観測の指導、すがのフェスタにおける茶道の指導により日本文化に接する機会の提供を行っている。これらの活動により地域や学校でのこども達との交流を通して、高齢者自身も生き甲斐を見つけ、その事がこども達の健全な育成に役立つという循環を生んでいる。長い間続けることでこの地域に定着し、どの行事も地域の多くの人々の協力を得て進めることができている。</p> <p>地域住民の連帯感が希薄になりつつある現在、これらの活動を通して、こども達や高齢者を取り巻く環境がより良い姿になる事を期待している。</p>			<p>育てようこども達、大切にしようねお年寄り”をスローガンに、高齢になっても今までに培ってきた経験や知恵、技術そして心を、次世代を担うこども達に伝承し、少しでも役立つ生き方に生き甲斐を持って活動する事を目的としている。</p> <p>具体的な活動としては、市川民話と歴史の紙芝居と語り、星空観望とミニコンサートにおけるプロの音楽家による演奏と星空案内人による天体観測の指導、すがのフェスタにおける茶道の指導により日本文化に接する機会の提供を行っている。これらの活動により地域や学校でのこども達との交流を通して、高齢者自身も生き甲斐を見つけ、その事がこども達の健全な育成に役立つという循環を生んでいる。長い間続けることでこの地域に定着し、どの行事も地域の多くの人々の協力を得て進めることができている。</p> <p>地域住民の連帯感が希薄になりつつある現在、これらの活動を通して、こども達や高齢者を取り巻く環境がより良い姿になる事を期待している。</p>																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>収入</th> <th>金額</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業収入</td> <td>10,000</td> <td>紙芝居の出前に対する謝礼</td> </tr> <tr> <td>密附金収入</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金収入</td> <td>150,000</td> <td>市川市民活動団体事業補助金</td> </tr> <tr> <td>その他（助成金等）</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会費充当</td> <td>378,110</td> <td>団体の本会計より充当</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>538,110</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			収入	金額	説明	事業収入	10,000	紙芝居の出前に対する謝礼	密附金収入	0		補助金収入	150,000	市川市民活動団体事業補助金	その他（助成金等）	0		会費充当	378,110	団体の本会計より充当	合計	538,110		<table border="1"> <thead> <tr> <th>収入</th> <th>金額</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業収入</td> <td>10,000</td> <td>紙芝居の出前に対する謝礼</td> </tr> <tr> <td>密附金収入</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金収入</td> <td>150,000</td> <td>市川市民活動団体事業補助金</td> </tr> <tr> <td>その他（助成金等）</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会費充当</td> <td>378,110</td> <td>団体の本会計より充当</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>538,110</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			収入	金額	説明	事業収入	10,000	紙芝居の出前に対する謝礼	密附金収入	0		補助金収入	150,000	市川市民活動団体事業補助金	その他（助成金等）	0		会費充当	378,110	団体の本会計より充当	合計	538,110																																																																															
収入	金額	説明																																																																																																																											
事業収入	10,000	紙芝居の出前に対する謝礼																																																																																																																											
密附金収入	0																																																																																																																												
補助金収入	150,000	市川市民活動団体事業補助金																																																																																																																											
その他（助成金等）	0																																																																																																																												
会費充当	378,110	団体の本会計より充当																																																																																																																											
合計	538,110																																																																																																																												
収入	金額	説明																																																																																																																											
事業収入	10,000	紙芝居の出前に対する謝礼																																																																																																																											
密附金収入	0																																																																																																																												
補助金収入	150,000	市川市民活動団体事業補助金																																																																																																																											
その他（助成金等）	0																																																																																																																												
会費充当	378,110	団体の本会計より充当																																																																																																																											
合計	538,110																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支出</th> <th>金額</th> <th>補助対象金額</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>139,000</td> <td>139,000</td> <td>紙芝居講師料：36,000（@3,000×12か月） コンサート：演奏者60,000（20,000×3名）、ピアノ調律10,000 星空観望：講師15,000、手話指導8,000 すがのフェスタ：茶室講師10,000</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> <td>電車賃、駐車料</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>40,000</td> <td>40,000</td> <td>ケントラジャ、ラミネート、装飾用材料、インク、懐紙、他のすがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>275,000</td> <td>107,622</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>12,250</td> <td>12,250</td> <td>ボランティア保険@350×35名</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>13,860</td> <td>13,860</td> <td>公民館使用料（1,050×12時間×110%）</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表彰金・参加賞・賞状</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>謝金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>538,110</td> <td>320,732</td> <td>※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)</td> </tr> </tbody> </table>			支出	金額	補助対象金額	説明	報償費	139,000	139,000	紙芝居講師料：36,000（@3,000×12か月） コンサート：演奏者60,000（20,000×3名）、ピアノ調律10,000 星空観望：講師15,000、手話指導8,000 すがのフェスタ：茶室講師10,000	交通費	8,000	8,000	電車賃、駐車料	消耗品費	40,000	40,000	ケントラジャ、ラミネート、装飾用材料、インク、懐紙、他のすがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000	印刷製本費	275,000	107,622		通信運搬費	0	0		保険料	12,250	12,250	ボランティア保険@350×35名	使用料及び賃借料	13,860	13,860	公民館使用料（1,050×12時間×110%）	原材料費	0	0		食糧費	50,000	0		表彰金・参加賞・賞状	0	0		会議費	0	0		謝金	0	0		その他	0	0		合計	538,110	320,732	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支出</th> <th>金額</th> <th>補助対象金額</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>139,000</td> <td>139,000</td> <td>紙芝居講師料：36,000（@3,000×12か月） コンサート：演奏者60,000（20,000×3名）、ピアノ調律10,000 星空観望：講師15,000、手話指導8,000 すがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> <td>電車賃、駐車料</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>40,000</td> <td>40,000</td> <td>ケントラジャ、ラミネート、装飾用材料、インク、懐紙、他のすがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>275,000</td> <td>107,622</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>12,250</td> <td>12,250</td> <td>ボランティア保険@350×35名</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>13,860</td> <td>13,860</td> <td>公民館使用料（1,050×12時間×110%）</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表彰金・参加賞・賞状</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>謝金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>538,110</td> <td>320,732</td> <td>※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)</td> </tr> </tbody> </table>			支出	金額	補助対象金額	説明	報償費	139,000	139,000	紙芝居講師料：36,000（@3,000×12か月） コンサート：演奏者60,000（20,000×3名）、ピアノ調律10,000 星空観望：講師15,000、手話指導8,000 すがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000	交通費	8,000	8,000	電車賃、駐車料	消耗品費	40,000	40,000	ケントラジャ、ラミネート、装飾用材料、インク、懐紙、他のすがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000	印刷製本費	275,000	107,622		通信運搬費	0	0		保険料	12,250	12,250	ボランティア保険@350×35名	使用料及び賃借料	13,860	13,860	公民館使用料（1,050×12時間×110%）	原材料費	0	0		食糧費	50,000	0		表彰金・参加賞・賞状	0	0		会議費	0	0		謝金	0	0		その他	0	0		合計	538,110	320,732	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)
支出	金額	補助対象金額	説明																																																																																																																										
報償費	139,000	139,000	紙芝居講師料：36,000（@3,000×12か月） コンサート：演奏者60,000（20,000×3名）、ピアノ調律10,000 星空観望：講師15,000、手話指導8,000 すがのフェスタ：茶室講師10,000																																																																																																																										
交通費	8,000	8,000	電車賃、駐車料																																																																																																																										
消耗品費	40,000	40,000	ケントラジャ、ラミネート、装飾用材料、インク、懐紙、他のすがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000																																																																																																																										
印刷製本費	275,000	107,622																																																																																																																											
通信運搬費	0	0																																																																																																																											
保険料	12,250	12,250	ボランティア保険@350×35名																																																																																																																										
使用料及び賃借料	13,860	13,860	公民館使用料（1,050×12時間×110%）																																																																																																																										
原材料費	0	0																																																																																																																											
食糧費	50,000	0																																																																																																																											
表彰金・参加賞・賞状	0	0																																																																																																																											
会議費	0	0																																																																																																																											
謝金	0	0																																																																																																																											
その他	0	0																																																																																																																											
合計	538,110	320,732	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)																																																																																																																										
支出	金額	補助対象金額	説明																																																																																																																										
報償費	139,000	139,000	紙芝居講師料：36,000（@3,000×12か月） コンサート：演奏者60,000（20,000×3名）、ピアノ調律10,000 星空観望：講師15,000、手話指導8,000 すがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000																																																																																																																										
交通費	8,000	8,000	電車賃、駐車料																																																																																																																										
消耗品費	40,000	40,000	ケントラジャ、ラミネート、装飾用材料、インク、懐紙、他のすがのフェスタ：茶室7,000、菓子8,000																																																																																																																										
印刷製本費	275,000	107,622																																																																																																																											
通信運搬費	0	0																																																																																																																											
保険料	12,250	12,250	ボランティア保険@350×35名																																																																																																																										
使用料及び賃借料	13,860	13,860	公民館使用料（1,050×12時間×110%）																																																																																																																										
原材料費	0	0																																																																																																																											
食糧費	50,000	0																																																																																																																											
表彰金・参加賞・賞状	0	0																																																																																																																											
会議費	0	0																																																																																																																											
謝金	0	0																																																																																																																											
その他	0	0																																																																																																																											
合計	538,110	320,732	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)																																																																																																																										
前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況		審査会で特に審議頂きたい点																																																																																																																											
		<p>事業計画概要</p> <p>実施時期、方法、場所 ①市川の民話と歴史の紙芝居と語り：毎月1、4金曜、第3木曜勉強会、市内各種行事に参加 ②星空観望とミニコンサート：12月の土曜日、菅野公民館 ③すがのフェスタ：11月、菅野小</p> <p>内容 ①紙芝居と語りの勉強と市内各種行事での実演 ②プロ音楽家3人と星空案内人1人、約200人 ③茶道クラブ児童と菅野小学校PTA、すがの会で茶席を設け、こどもたちに茶道を指導 約130人</p>																																																																																																																											

【事業概要の説明】

【収支予算額】

- ・収入と支出の実績金額
- ・金額の説明 など

※前回申請の金額から2割以上増の費目は網掛け(黄色)となります。

【左側】

前回申請時の内容が記載されています

※新規団体の場合は記載なし

【右側】

今回申請時の内容が記載されています

【審査会委員への申し送り事項】

- ・前年度審査会コメントや指摘事項 など

※直近事業概要はこちらに掲載

【事業計画概要】

- ・実施時期、方法、場所、内容 など

1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号 団体番号					
39	127	特定非営利活動法人 世界の胎音計	1回目	団体の活動分野	1
世界の胎音計音楽の泉Vol. 3事業“ナマステ楽団”公演			事業の該当分野	1	保健、医療又は福祉の増進

直近年度の申請内容 (交付決定時)		令和8年度の申請内容	
【直近申請年度】	0	【事業の概要説明】	【事業の概要説明】
事業費総額	0	事業費総額	85,620
補助対象総額	0	補助対象総額	85,620
交付申請額	0	交付申請額	42,810

収入	金額	収入	金額	説明
事業収入	0	事業収入	30,000	参加入場料、1,000円
寄附金収入	0	寄附金収入	0	
補助金収入	0	補助金収入	42,810	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	12,810	330円募金X2、250募金X1、100募金X19
会費充当	0	会費充当	0	団体の本会計より充当
合計	0	合計	85,620	

支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	0	0	報償費	30,000	30,000	出演者謝礼15,000 X 2人
交通費	0	0	交通費	19,620	19,620	2,180円×9人
消耗品費	0	0	消耗品費	3,000	3,000	用紙代1,600円、電池(時計用)700円、フ列ム(受付ブース用)700円
印刷製本費	0	0	印刷製本費	17,100	17,100	チラシ1500枚
通信運搬費	0	0	通信運搬費	11,000	11,000	切手代110円X100通
保険料	0	0	保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	使用料及び賃借料	4,900	4,900	I-Linkホール
原材料費	0	0	原材料費	0	0	
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	0	0	その他	0	0	
合計	0	0	合計	85,620	85,620	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要
		<p>実施時期、方法、場所</p> <p>2027年3月実施予定 I-Linkホール、又は男女共同参画センター 予定</p> <p>内容</p> <p>コンサートの前に講演会を開催予定(30分) I-Linkホール、又は男女共同参画センター 予定 事業をどのよ北海道で保護者が無く、少年院を出院後様々な事情があり、家庭など帰る場所のない子どもたちがいます。そうした子どもたちに安心出来る「居場所」を提供し、彼らが社会の中で幸福な人生を送り、自立する為の様々なサポートを行っている方がいます。NPO法人スマイルリンク：理事長/堀泊融穂氏です。講演会を実施することで子どもたちに自立する環境整備を支援し、人権の意識推進、及び国内外に起きている様々な人道的問題に寄与します。</p> <p>世界の胎音計音楽の泉Vol. 3事業“ナマステ楽団”コンサート予定 公演時間/60分予定 内容：インド音楽、秘儀な芸術・サウンドワーカーの吟遊詩人“未森英樹”&ドラマティック・タブラの伝道師“ディネーシュ(Dinesh)”という黄色のユニット、未森英樹、ギターと歌、ディネーシュがタブラを担当します。 【インドの代表的な民族楽器“タブラ”は世界一難しい打楽器と言われています。】 コンサートを通して世界の様々な問題に意識を高め、幅広く告知することで、国際理解への感情が深まり支援の輪が広がると想います。 また、これまでボランティア活動の意識が希薄であった市民のボランティア意識が向上するとともに子どもたちのサポート活動の意識を共有することが内できます。</p>

1回目の申請(※昨年比較データがなく、予算金額欄が黄色の網掛けになっています)

事業番号		団体番号		事業名		活動分野		活動内容	
30	113	特定非営利活動法人M&M Table (旧:ふくろう画廊)	1回目	団体の活動分野	6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興			
		かしの文庫 (柏井公民館へ設置の私設本棚)		事業の該当分野	6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興			
直近年度の申請内容 (交付決定時)					令和8年度の申請内容				
【直近申請年度】		令和7年度		【事業の概要説明】		【事業の概要説明】			
事業費総額	0	事業費総額	168,358	目的: 図書室を備えない柏井公民館に私設本棚を設置し、地域住民に対し恒常的な読書機会を創出するとともに、市民の生涯学習の一助に資することを目的とする。	168,358	必要性: 公共図書館から地理的に最も遠く、かつ図書館を持たない柏井公民館が本事業の最適地である旨を生涯学習部(現教育振興部)との協議を通じて確認した。本事業は「市川市市民等の市政への参加の推進等に関する要綱」に定める市民活動及び協働の精神に基づき、行政サービスを補完し、市民による自治の役割を具体化するものである。			
補助対象総額	0	補助対象総額	168,358						
交付申請額	0	交付申請額	84,179						
収入		金額		収入		金額		説明	
事業収入	0	事業収入	0	事業収入	0				
寄附金収入	0	寄附金収入	10,000	寄附金収入	10,000	会員及び一般からの寄附金			
補助金収入	0	補助金収入	84,179	補助金収入	84,179	市川市市民活動団体事業補助金			
その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	0	その他(助成金等)	0				
会費充当	0	会費充当	74,179	会費充当	74,179	団体の本会計より充当			
合計	0	合計	168,358	合計	168,358				
支出		金額		補助対象金額		金額		説明	
報償費	0	報償費	0	報償費	0				
交通費	0	交通費	46,080	交通費	46,080	柏井公民館への本棚の整備補充の交通費 1回あたり経路 (JR本八幡～下総中山 150円 + 下総中山～柏井本村 330円) × 2 = 960円 × 4 (週) × 12 (ヶ月) = 46,080円			
消耗品費	0	消耗品費	112,878	消耗品費	112,878	文庫本1,500円×30冊(概算)、絵本2,000円×20冊(概算)、※書籍価格及び購入冊数の根拠 昨今の書籍の平均価格、当団体令和7年度購入冊数と団体本会計とのコストバランスによる。また、書籍の状態によっては古本も視野に想定している。			
印刷製本費	0	印刷製本費	9,400	印刷製本費	9,400	アンケート用QRコード入りオリジナル某制作・印刷 1,000部			
通信運搬費	0	通信運搬費	0	通信運搬費	0				
保険料	0	保険料	0	保険料	0				
使用料及び賃借料	0	使用料及び賃借料	0	使用料及び賃借料	0				
原材料費	0	原材料費	0	原材料費	0				
食糧費	0	食糧費	0	食糧費	0				
表彰費・参加賞・賞状	0	表彰費・参加賞・賞状	0	表彰費・参加賞・賞状	0				
会議費	0	会議費	0	会議費	0				
謝金	0	謝金	0	謝金	0				
その他	0	その他	0	その他	0				
合計	0	合計	168,358	合計	168,358	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)			
前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況		審査会で特に審議頂きたい点		事業計画概要					
				実施時期、方法、場所	時期: 通年 場所: 柏井公民館受付前に私設本棚を設置				
				内容	【設置場所】柏井公民館受付前に設置 【貸出方法】無料貸出(図書館法準拠及び市の占有協定に基づく)、貸出手続きなし(人的理由による) ※行政財産使用許可は年度毎に更新、占有協定の終期については特段定めがない ※本補助金貸付に際し購入した書籍の紛失・紛失については、当団体がその損害を賠償します。 【図書構成】蔵書数約200冊。時代小説、絵本、ベストセラー等、利用者アンケートによるリクエストが多い分野を重視。 【蔵書調達】当団体の予算による購入、当団体会員及び市図書館蔵書の寄付により運用。今後は一般市民からの寄付を募ることも視野に想定しているが、不要本の処分代行にならぬよう慎重に検討している。 【管理体制】週に一度、本棚の整理と補充及び入れ替えを実施。整理時に写真撮影を行い、貸出・返却の照合作業を通じて運用実態を把握(現時点で紛失図書は皆無)。				

4回目の申請

事業番号	団体番号	実施団体	回数	団体の活動分野	事業の該当分野	推進分野
28	107	実践人市川読書会	4回目		2	社会教育の推進
		第3回 実践人市川読書会研修会（講演会 & 上映会）二宮金次郎に学ぶ（その三）		事業の該当分野	2	社会教育の推進

直近年度の申請内容（交付決定時）			令和8年度の申請内容		
【直近申請年度】	令和7年度	【事業の概要説明】			【事業の概要説明】
事業費総額	380,000	(目的) 森信三先生（明治29年～平成4年）は、教育者・哲学者であり、国民の師父として仰ぎ尊敬されている。その森教学を、講演会及び上映会を通じて市民に広く普及する。 (内容) 森信三先生は、二宮金次郎の生き方を賞賛している。第一部講演会では、映画製作を通じて監督が感じたことを学ぶ。その生き方を学ぶ。第二部上映会では、映像を通じて、金次郎の生き様を印象深く学ぶ。 (効果) 斯かる生涯教育は、1回の講演会や上映会の短期間で目に見えて効果の現れるものではない。しかしながら、この種教育を継続していると中江藤樹の村のように「市民の生き様」が変わってくるものと確信している。同講演会や上映会を通じて社会の一隅を照らし、徐々に世の中が変革することを期待している。	事業費総額	342,000	(目的) 森信三先生（明治29年～平成4年）は、教育者・哲学者であり、国民の師父として仰ぎ尊敬されている。その森教学を、講演会及び上映会を通じて市民に広く普及する。 (内容) 森信三先生は、二宮金次郎の生き方を賞賛している。第一部講演会では、映画製作を通じて監督が感じたことを学ぶ。その生き方を学ぶ。第二部上映会では、映像を通じて、金次郎の生き様を印象深く学ぶ。 (効果) 斯かる生涯教育は、1回の講演会や上映会の短期間で目に見えて効果の現れるものではない。しかしながら、この種教育を継続していると中江藤樹の村のように「市民の生き様」が変わってくるものと確信している。同講演会や上映会を通じて社会の一隅を照らし、徐々に世の中が変革することを期待している。
補助対象総額	260,000		補助対象総額	262,000	
交付申請額	130,000		交付申請額	131,000	

収入	金額		収入	金額	説明	
事業収入	225,000	参加料1,500円×150人	事業収入	210,000	参加料1,500円×140人	
寄附金収入	0		寄附金収入	0		
補助金収入	130,000	市川市民活動団体事業補助金	補助金収入	131,000	市川市民活動団体事業補助金	
その他（助成金等）	0		その他（助成金等）	0		
会費充当	25,000	団体の本会計より充当	会費充当	1,000	団体の本会計より充当	
合計	380,000		合計	342,000		
支出	金額	補助対象金額	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	110,000	60,000	報償費	100,000	70,000	講師：80,000円 司会20,000円
交通費	0	0	交通費	2,000	2,000	駐車料金等
消耗品費	30,000	30,000	消耗品費	30,000	30,000	用紙、封筒10,000円、雑費10,000円、テープ等10,000円
印刷製本費	30,000	30,000	印刷製本費	20,000	20,000	チラシ6,000枚印刷、レジュメ印刷
通信運搬費	30,000	30,000	通信運搬費	20,000	20,000	チラシ送料（宅配、郵送）
保険料	0	0	保険料	0	0	
使用料及び賃借料	110,000	110,000	使用料及び賃借料	130,000	110,000	上映フィルム借用（110,000円）、会場費（20,000円）※減免のため対象外
原材料費	0	0	原材料費	0	0	
食糧費	0	0	食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0	表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0	会議費	0	0	
謝金	0	0	謝金	0	0	
その他	70,000	0	その他	40,000	10,000	H P 制作費10,000円、打ち合わせ飲食費30,000円 ※補助対象外
合計	380,000	260,000	合計	342,000	262,000	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要	
		実施時期、方法、場所	2026年4月25日(土) 場所:全日鑑ホール(市川市八幡市民会館)
		内容	第一部:講演会 講師:松沢成文氏を招聘し、「教養として知っておきたい二宮尊徳」と題して講演をしていただく。参加者にはレジュメを配布し、講演の理解度を深める。 第二部:上映会 「二宮金次郎」の映画を上映して、その中の感動シーンを通じて、より深く金次郎の生き様を学ぶ。

4 回目の申請

事業番号		団体番号		活動分野		学術、文化、芸術又はスポーツの振興	
31	116	行徳郷土文化懇話会	4回目	6	6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	
行徳の歴史の伝承と次世代への継承				事業の該当分野	6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	

直近年度の申請内容（交付決定時）			令和8年度の申請内容		
【直近申請年度】	令和7年度	【事業の概要説明】	【事業の概要説明】		
事業費総額	187,950	貴重な歴史背景を持つ行徳の街について市民にはあまり知られていない現状がある中で行徳・浦安三十三カ所観音礼所巡りを毎年開催し、同時に街の歴史に関する資料作り、講演会を行うことにより、市民の関心を喚起し、歴史文化への理解を深め、継承を促進する。	事業費総額	308,840	貴重な歴史背景を持つ行徳の街について市民にはあまり知られていない現状がある中で行徳・浦安三十三カ所観音礼所巡りを毎年開催し、同時に街の歴史に関する資料作り、講演会を行うことにより、市民の関心を喚起し、歴史文化への理解を深め、継承を促進する。
補助対象総額	126,350		補助対象総額	218,840	
交付申請額	63,175		交付申請額	109,420	

収入	金額		収入	金額	説明
事業収入	85,000	行徳・浦安・行徳三十三カ所礼所巡り参加費（1,500円X40名 = 60,000円、講演会参加費（500円X50名 = 25,000円）	事業収入	170,000	三十三カ所礼所巡り参加費1000円X30名X3日 = 90,000円、講演会参加費500円X30名X4回 = 60,000円、もしおぐさ販売500円X40冊 = 20,000円
寄附金収入	0		寄附金収入	0	
補助金収入	63,175	市川市市民活動団体事業補助金	補助金収入	109,420	市川市市民活動団体事業補助金
その他（助成金等）	0		その他（助成金等）	0	
会費充当	39,775	団体の本会計より充当	会費充当	29,420	団体の本会計より充当
合計	187,950		合計	308,840	

支出	金額	補助対象金額		支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	10,000	10,000	講師謝礼（10,000円X1名）	報償費	40,000	40,000	講師謝礼10,000円X4
交通費	25,000	25,000	三十三カ所巡り、神社めぐり、市川芸術文化協会参加交通費	交通費	25,000	25,000	三十三カ所巡り、神社めぐり、市川芸術文化協会参加交通費
消耗品費	13,000	13,000	コピー用紙1,000円、プリンターインク5,000円X2、文房具2,000円	消耗品費	18,000	18,000	コピー用紙1,000円、プリンターインク5,000円X3、文房具2,000円
印刷製本費	39,100	37,500	三十三カ所巡りおしり50部 = 1,500円 行文懇講座資料5,000円、会報150部30,000円、行文懇講座チラシ1,000円 対象外：定例会資料コピー代1,600円	印刷製本費	57,500	57,500	三十三カ所巡りおしり50部 = 1,500円、行文懇講座資料12,000円、会報150部40,000円、行文懇講座チラシ4,000円
通信運搬費	22,400	22,400	資料送付用レターパック430円X20 = 8,600円、寺社挨拶状用切手代110円X30 = 3,300円、会報送付用切手代210円X50 = 10,500円	通信運搬費	22,400	22,400	資料送付用レターパック430円X20 = 8,600円、寺社挨拶状用切手代110円X30 = 3,300円、会報送付用切手代210円X50 = 10,500円
保険料	3,000	3,000	三十三カ所巡り団体保険一日1,000円X3日	保険料	3,300	3,300	三十三カ所巡り団体保険一日1,100円X3日
使用料及び賃借料	15,450	15,450	行徳文化ホール1&1費料5,620円、マイク等機材レンタル代9,830円	使用料及び賃借料	52,640	52,640	行徳文化ホール会場使用料5,610円、マイク等機材レンタル代9,830円、行徳公民館会場使用料2,400円X3 = 7,200円、屋形船使用料30,000円
原材料費	0	0		原材料費	0	0	
食糧費	0	0		食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0		表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0		会議費	0	0	
謝金	0	0		謝金	0	0	
その他	60,000	0	寺社お礼	その他	90,000	0	寺社お礼
合計	187,950	126,350	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)	合計	308,840	218,840	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要	
		実施時期、方法、場所	行徳・浦安三十三カ所観音礼所巡りは4月に2回、5月に1回行う。（妙典～行徳～浦安～原木中山）講演会を年4回（地域公民館、または行徳文化ホールを予定）江戸川の舟運体験と講演会は屋形船を借りる予定。研修会は秋～冬に行う予定。会報は1月発行予定
		内容	（1）行徳・浦安三十三カ所観音礼所巡り 4月、5月に合計3日に分けて礼所を巡る。 （2）行文懇講座 行徳の歴史・文化を詳しく学ぶ 「祭・神楽」、「舟運」、「礼所巡り」、「地回から学ぶ行徳今昔」 「江戸時代のインフラ整備と武士団の活躍」と行った。令和八年度内容については検討中 （3）会報作り 会員向けだけでなく、地域の学校や図書館、関係団体にも 行徳を知ってもらうきっかけとなる会報作りを目指す。

4回目の申請

事業番号	団体番号				
32	117	いちかわみんなのほけんしつ実行委員会	4回目	団体の活動分野	1
		いちかわみんなのほけんしつ・暮らしの保健室開催事業		事業の該当分野	1
					保健、医療又は福祉の増進
					保健、医療又は福祉の増進

直近年度の申請内容（交付決定時）			令和8年度の申請内容		
【直近申請年度】	令和7年度	【事業の概要説明】			
事業費総額	743,715	活動の目的は、町の中で、メンタルヘルスの専門家を含むボランティアスタッフのいる誰もが無料で利用できる「暮らしや健康に関する相談窓口」・「安心の居場所」・「癒しの場」・「在宅医療や病気予防について市民との学びの場」・「地域ボランティアの育成の場」・「世代や専門・職種を超えてつながる交流の場」として保健室を開きます。 内容としては、心身の病気になる前もしくは再発を予防するために気軽に立ち寄れる場を開催しています。5人に1人が生涯で何かの精神疾患に罹患するとされるが、その予防や早期相談が充分に行われていない。また、障害があると社会から孤立してしまうという社会課題があります、その課題を本事業で少しでも解決したいと考えます。	事業費総額	566,420	【事業の概要説明】 活動の目的は、町の中で、メンタルヘルスの専門家を含むボランティアスタッフのいる誰もが無料で利用できる「暮らしや健康に関する相談窓口」・「安心の居場所」・「癒しの場」・「在宅医療や病気予防について市民との学びの場」・「地域ボランティアの育成の場」・「世代や専門・職種を超えてつながる交流の場」として保健室を開きます。内容としては、心身の病気になる前もしくは再発を予防するために気軽に立ち寄れる場を開催しています。5人に1人が生涯で何かの精神疾患に罹患するとされるが、その予防や早期相談が充分に行われていない。また、障害があると社会から孤立してしまうという社会課題があります、その課題を本事業で少しでも解決したいと考えます。本活動は全国で行われている「暮らしの保健室」(https://kuraho.jp/)を参考にしています。 なお、講演会は本事業の「活動報告会」に学びの要素を取り入れたものを年に1回行います。また、ワークショップはボランティアの研修を市民を招いて行うという主旨ですので、ボランティアの育成の部分になります。宿泊型保健室は、居場所として話す・聞くという方法だけでなく、安心して「食べる」・「寝る」という要素を取り入れた暮らしの保健室ということを考えています。心の健康を保つ場合、この二つの要素を取り入れて対応をした方がよいと考えています。
補助対象総額	477,215	講演会は本事業の「活動報告会」に学びの要素を取り入れたものを年に2回行います。 また、ワークショップはボランティアの研修を市民を招いて行うという主旨ですので、ボランティアの育成の部分になります。宿泊型保健室は、居場所として話す・聞くという方法だけでなく、安心して「食べる」・「寝る」という要素を取り入れた暮らしの保健室ということを考えています。心の健康を保つ場合、この二つの要素を取り入れて対応をした方がよいと考えています。	補助対象総額	244,820	
交付申請額	150,000		交付申請額	122,410	

収入	金額		収入	金額	説明
事業収入	304,000	5月講演会10,000円、10月講演会25,000円、ワークショップ177,000円 宿泊体験会45,000円	事業収入	238,000	ワークショップ158,000円、宿泊型保健室80,000円
寄附金収入	176,525	不定期の寄付	寄附金収入	165,000	不定期の寄付
補助金収入	238,607	市川市市民活動団体事業補助金	補助金収入	122,410	市川市市民活動団体事業補助金
その他（助成金等）	0		その他（助成金等）	0	
会費充当	24,583	団体の本会計より充当	会費充当	41,010	団体の本会計より充当
合計	743,715		合計	566,420	

支出	金額	補助対象金額	説明	支出	金額	補助対象金額	説明
報償費	150,000	150,000	講師料（講演会20,000円と30,000円） ワークショップ講師料 100,000円（6回分）	報償費	125,000	60,000	講師料（講演会10,000円、宿泊型保健室15,000円※対象外、ワークショップ100,000円）
交通費	14,400	14,400	カフェBres 駐車場代1,200円×12回	交通費	13,000	13,000	カフェBres駐車場代12,000円 宿泊型保健室1,000円
消耗品費	30,100	4,500	飲み物代（320名×80名）、対話の言葉カード3,500円、手指消毒用アルコール用品1,000円 ※ワークショップにて使用	消耗品費	30,100	4,500	飲み物代（320名×80名）、対話の言葉カード3,500円、手指消毒用アルコール用品1,000円 ※ワークショップにて使用
印刷製本費	29,650	29,650	パンフレット作製・アンケート印刷費用29,650円	印刷製本費	14,030	14,030	パンフレット作製・アンケート印刷費用 14,030円
通信運搬費	0	0		通信運搬費	0	0	
保険料	0	0		保険料	6,000	6,000	宿泊型保健室の際の保険×2回分
使用料及び賃借料	437,220	262,320	保健室242,220円、宿泊型保健室118,000円、活動報告会14,000円、ワークショップ63,000円	使用料及び賃借料	300,420	135,420	保健室217,800円（※うち161,700円対象外）、宿泊型保健室27,500円、活動報告会3,300円※対象外、ワークショップ51,820円
原材料費	0	0		原材料費	0	0	
食糧費	0	0		食糧費	0	0	
表彰盾・参加賞・賞状	0	0		表彰盾・参加賞・賞状	0	0	
会議費	0	0		会議費	0	0	
謝金	0	0		謝金	0	0	
その他	82,345	16,345	イベント開催時Peatix使用料 16,345円 公式LINE利用料 66,000円（5,500円×12か月）※補助対象外 ※運営に係る経費のため補助対象外	その他	77,870	11,870	Peatix手数料11,870円 公式LINE利用料5,500円×12※補助金対象外
合計	743,715	477,215	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)	合計	566,420	244,820	※補助金額は左記の1/2(上限15万or30万)

前年度の審査会コメントや指摘事項・改善状況	審査会で特に審議頂きたい点	事業計画概要	
		実施時期、方法、場所	講演会：2026年8月、2027年2月（2回） 保健室（いちかわみんなのほけんしつ）：2026年4月～2027年3月まで毎週木曜日（年末年始除く）11:00-13:00、月1回土曜日14:00-16:00（計65回） 宿泊型保健室（泊まれる保健室）：2026年6月、12月（計2回） ワークショップ：2025年9月、10月、11月（計3回）
		内容	実行委員会1-2名とボランティアスタッフ1-2名でいちかわみんなのほけんしつを開催します。 宿泊型保健室は宿泊施設を借りて、実行委員会2名とボランティアスタッフ1-2名、参加者1-2名程、体験学習をする場合講師1名程お招きして行います。 実行委員会2名とボランティアスタッフ数名で対話についてのワークショップ（ボランティアスタッフの勉強会を兼ねる）を連続で3回開催します。3回目のみ講師（オープンダイアログのトレーナーである精神科医）をお呼びします。 8月に実行委員会数名、ボランティアスタッフ数名で活動報告会およびボランティア説明会、対話の言葉カードを使った安心安全な対話をとむに学ぶ会の体験会（ボランティア研修会）を開催します。 2月に実行委員会3名とボランティアスタッフ数名、講師1名（千葉県産科婦人科医学会の性教育委員会の運営委員の先生）をお招きし活動報告会兼講演会を行います。 事務手続きなどは実行員とボランティアスタッフ2名が行います。 googleフォーム等を用いてアンケートを実施し、結果および活動報告をいたします。

令和8年度 市川市市民活動団体事業補助金申請 質疑への回答一覧

[審査一覧表に戻る\(クリックしてください\)](#)

申し送り事項	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業であるため、お諮りするもの。設立は2009年であり、既に長く活動実績がある団体です。 <p>【団体より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の申請理由（長く活動実績があるが、今回初めて申請となる理由） 団体の設立当初から理事長の熱い思いで、個人の私財を投入して今日まで来ましたが、やっと2024年3月から毎年1回はコンサートを実施し、募金活動の安定を計りたく、今回申請致しました。 <p>【各費目への補足（団体の回答）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入について 出演者の公演料及び100円募金を始め高額な輸入雑貨商品までの収益を飢餓に苦しむ子どもたちへ支援することに使います。 ・支出について 過去の実績額を基に積算した金額です。 <p>交通費（19,620円）については、毎回ボランティアスタッフで行っており、メンバーが現時点で確定していないため、概算での積算となっています。</p> <p>【委員からの事務局への質問に対する回答】</p> <p>※事務局への確認ですが、主たる事務所の所在地は市川市内なのでしょうか。神奈川県の場合は、団体要件2（条例第3条）（1）に該当されないものかと思ひまして、念のため確認させていただきます。</p> <p>特定非営利活動法人世界の胎音計 https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=4020005009031 →事務所所在地を神奈川県相模原市から千葉県市川市へ移転。2025年11月28日に認証済であることを千葉県環境生活部県民生活課へ確認済です。 https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/012003145</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

団体名	委員名	NO.	質疑一覧	団体からの回答
特定非営利活動法人 世界の胎音計	奈良委員	1	コンサート事業および募金活動が、団体の本来の目的（飢餓に苦しむ子どもたちへの支援）にどのように直接結びついているのか、具体的な流れを教えてください。	通常の街の募金活動においては成果が上がりません、付いてはコンサートの入場料（実費）を頂く事で多くの参加者が見込まれます。したがって募金額にもつながり、飢餓に苦しむ子どもたちへ支援することも出来、企画を実施しております。
		2	募金および物販収益の用途について、支援先や配分方法はどのように決定されていますか。	支援先についてわ、NGOを通して行っており、配分方法については現在のところ、赤字経営が続いている状況ですので、理事長の出来る範囲内で実施しております。経営が安定し活動が起動に乗りましたら理事会にて決定致します。
	大西委員	3	事業内容に、北海道で帰る場所のない子供たちの支援とありますが、市川で開催するので、市川市の同じような子供たちへの支援も含まれてもと考えますが、あくまでも堀田さんの会に支援ということでしょうか。もちろん、コンサートの開催によって、世界の問題に意識することなど意義のあることだと思います。	堀田豊稔氏に付いては、団体の理事長板谷氏との個人的な関係（両氏とも北海道出身）と言う事も有り実施しております。先行きは団体のスタッフを増やして市川市での活動も視野に入っております。
	渡邊委員	4	ナマステというのはインドに重きを置いているのでしょうか。	特にインドと言う事では有りません。かつては、アフリカの音楽を実施した事も有り、団体の名称も世界の胎音計と言う事も有り、今後の活動においても幅広く活動をしたい思いも込めて、今回インド音楽を実施する運びとなりました。
	石垣委員	5	2024年3月、2025年3月に実施された「ぎたちゅー♪コンサート」はどちらで開催されたものですか。	市川市、男女共同参画センター
		6	事業の成果について、もう少し具体的に共有できるといいなと思います。これまでのコンサートや講演などに参加された方からの感想やエピソードがありましたら教えてください。	”ぎたちゅー♪コンサート”は昭和歌謡です、参加者も高齢者が多く評価は高かったです。また実施して下さいと言う声掛けもありました。音楽の泉Vol.3”ナマステ楽団”についてはアンケート用紙を配布致します。
		7	市川市民へ提供できる効果についてが曖昧に感じています。事業を行う目的の部分に記載されている「市川市の音楽文化底辺拡大に寄与するもの」というのはどういうことですか。	当団体は活動の基本（軸）が音楽を通して活動を行うと言う事です。本部事務局が市川市です。市川市での（コンサートで民族楽器使用）活動が軸です。
	鈴木委員	8	コンサートの参加者募集はどのように行いますか。	告知（市役所/NPO支援課）、チラシ（飲食店）、チラシ/ポスティング、スタッフ関係者へチラシ配布、
		9	チラシの配布想定先を教えてください。	同上
	神原委員	10	効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行っていますか。	当日の動員数
		11	事業の目標を本年度・最終別に教えてください。	動員数30名～40名
意見一覧				
<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解、社会的養護という関心を広めることが大切なテーマと、募金活動やボランティア、世界の音楽など参加しやすい工夫を組み合わせられており、素晴らしい市民活動だと思います。 ・インド音楽のナマステ楽団の公演を通じて、国際理解を深めるという点、興味深い活動だと思います。一方で、市川市内の会場で実施されますが、発展途上国の子供たちへの支援を目的とされており、市川市の市民活動団体としての補助金交付が適正なのか、現状では分かりにくいです。 ・事業目的が戦争や飢餓に苦しむ世界の子供たちを救済するという高邁 崇高な志は賞賛できます。しかしそれは背景として捉え、事業目的達成のためには身近で具体的な内容に絞って目標設定された方がいいと思います。 				

令和8年度 市川市市民活動団体事業補助金申請 質疑への回答一覧

[審査一覧表に戻る\(クリックしてください\)](#)

申し送り事項	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業であるため、お諮りするもの。 ・団体としての申請は4回目（令和4～6年度）ですが、事業を「いちかわのほほん古本市」⇒「かしわい文庫（柏井公民館へ設置の私設本棚）」へ変更しているため、新規1回目として扱い、お諮りするものです。 <p>【事業概要】</p> <p>目的：図書館を擁しない柏井公民館に私設本棚を設置し、地域住民に対し恒常的な読書機会を創出するとともに、市民の生涯学習の一助に資することを目的とする。</p> <p>必要性：公共図書館から地理的に最も遠く、かつ図書室を持たない柏井公民館が本事業の最適地である旨を生涯学習部（現教育振興部）との協議を通じて確認した。本事業は「市川市市民等の市政への参加の推進等に関する要綱」に定める市民活動及び協働の精神に基づき、行政サービスを補完し、市民による自治の役割を具体化するもの。</p>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

団体名	委員名	NO.	質疑一覧	団体からの回答
特定非営利活動法人 M&M Table	奈良委員	1	私設本棚の蔵書選定・管理・更新は、どのような体制で行う計画でしょうか。	市川市市民活動団体事業補助金交付申請書→2 補助対象事業の概要→(2) 事業の内容及び管理・運営体制に記載の通り
		2	公民館職員や利用者との役割分担、日常的な運営における協力体制はどのように想定されていますか。	当団体から特段、公民館職員に対して役割分担や協力は依頼していないが、自然発生的に公民館職員の善意と好意でご対応をいただいている部分はある。利用者については借りた本をきちんと返してくれることだけで当団体の活動に対して協力を得ていると認識している。
	石垣委員	3	管理体制についても限られた人員の中で、バランスをとって十分配慮されていると思いますが、週に一度の蔵書点検や補完活動については、現状でどのくらいの所要時間を見込まれていますか。コスト負担の軽減を目指すところでは、団体での運営に加え、例えば地域住民の方にボランティアでご協力いただく部分なども検討できるのでしょうか。	現状では1回につき当団体事務所から往復の交通を含めて3～4時間程度かかっている。また、ボランティアを広く求めることはマネジメントコストの観点から現状では考えていない。本事業開始当初より、あくまでも当団体の会員の手により管理するという前提で市とは約束をしている。
	鈴木委員	4	今回の対象事業については、概要調書の前年活動実績に記載されていますが、いつから実施されているのでしょうか。	令和6年度より実施している
		5	事業計画書の事業内容に、市との占有協定については終期の定めがないと記載されていますが、どちらかが申し出た時点で終了となるのでしょうか。	一方あるいは双方の申し出により協議の上、合意をもって終了することはあり得る。
	神原委員	6	効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行いますか。	市川市市民活動団体事業補助金交付申請書→2 補助対象事業の概要→(2) 事業の内容及び管理・運営体制 及び (3) 事業効果（令和6～7年度申請時までの運用実績）に記載の通り
		7	事業の目標を本年度・最終別に教えてください。	市川市市民活動団体事業補助金交付申請書→【展望】に記載の通り
		8	月間貸出数40冊は少ないと思いますが、増やす方法を考えられていますか。	月間の貸し出し冊数が少ないとは感じていない。貸し出しを増やすことについては市川市市民活動団体事業補助金交付申請書→2 補助対象事業の概要→(4) 今後の課題及び展望の【課題】に記載の通り

意見一覧

- ・申請書の記載内容について、「2 補助対象事業の概要」と様式第3号「事業計画書」に同じ記載が重複しています。次回申請されることがあれば、「2 補助対象事業の概要」には概要を完結にまとめて記載いただければと思います。
- ・団体の自己資金で開始した私設本棚活動が市民の読書活動の喚起につながり、今回、市民活動団体事業補助金の申請による充実を計画されていることは大変望ましい流れだと思います。
- ・事業効果や懸念点なども細かく把握され、まさに行政サービスの補完事業だと感じました。
- ・私設本棚が来館の動機にもなりますし、本棚を見かけることで、読書機会の創出につながることも素晴らしいと思います。
- ・市民にとって、より近距離に読書環境があることは、とても必要なことだと思います。
- ・事業計画書にも記載されていますが、不要本の処分代行にならないよう、検討を続けていただきたいと思います。

令和8年度 市川市市民活動団体事業補助金申請 質疑への回答一覧

申し送り事項	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同事業にて4回目の申請であるため、お諮りするもの。 <p>【団体より】</p> <p>1. 目的・効果： 森信三先生は、「二宮金次郎の生き方」に共鳴し、森教学の根幹はそこにあります。日本人本来の生き方、即ち 「至誠、勤労、質素、助け合い、感謝等」を回復しようとすることにあります。私達も、微力ながらそれらに通じる金次郎の報徳思想の普及を目指しています。しかしながら、教育とは、山に苗木を植えるようなもので短期間では結果は出ません。教育は、国家百年の計です。又、森信三先生の言葉に「教育とは、流水に文字を書くような果かない業である。だがそれは巖壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ。」とあります。目先すぐに結果は出ませんが、市川市民・50万人の為に、50年、100年先を見据えて、本事業を通じて、働いて、働いて、働きたいと願っています。</p> <p>2. 達成度： 当会が存続し、資金が続く限り、今まで通り、「二宮金次郎」の研究者や実践家を招聘し、啓蒙活動を継続していきます。「継続は力なり」の箴言を握りしめ、一步一步進んでまいります。</p> <p>3. 資金面の自立： 私達の活動は、一過性のエンターテインメントのものではなく、一生涯必要とされる基本的な教育活動です。本来なら、国家が税金を使って国民に実施すべきかも知れません。しかし、教育は全て無償で良いとも限らず、ある程度、受益者負担は必要で、又それが本人に真剣さを促す点もあると考えています。現に、参加者には1,500円の負担を願っています。もし、補助金が無く、経費全額を受益者が負担すると一人当たり1,000円アップの2,500円となります。自分の趣味、趣向、娯楽の為ならば、5,000円、10,000円でも抵抗は感じないでしょうが、自分磨きの為の出費となると躊躇するものとみえています。従って、参加者の負担は、1,000円 或いは 1,500円は最適な水準であると考えています。この事業は、毎年1回開催することとしており、現陣容では毎年10万円強の寄付金獲得は、ほぼ不可能で、事業の継続性は担保できません。補助金がなくなれば、残念ながらこの事業は中止します。</p> <p>【委員からの事務局への質問に対する回答】</p> <p>過去3回の市民活動団体事業補助金による事業で支払った講師謝金の金額を教えてください。</p> <p>⇒1回目（令和3年度）中止、2回目（令和6年度）：65,000円、3回目（令和7年度）：50,000円となります。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

団体名	委員名	NO.	質疑一覧	団体からの回答
実践人市川読書会	奈良委員	1	本事業は同一補助金において4回目の申請とのことですが、これまで3回の実施を通じて、内容や運営面でのどのような改善・発展がありましたか。	4回の申請の内、承諾を頂きましたがコロナの為に途中で中止しました。従って、今回は実質3回目です。講演会のポイントは、誰を講師に選ぶかです。大学の先生は、自分の専門分野に細かく入り込んでいくので一般市民対象には適当ではありません。講師選定の基準を学びました。
		2	これまでの実施結果を踏まえ、本年度の事業が「前年までと異なる意義」や「新たな付加価値」をどこに置いているのか、ご説明頂けますでしょうか。	前年度と異なる意義や新たな付加価値はありません。講師の選定、集客には苦労はありますが、事業を継続することに意義があると思っています。
		3	補助金がなければ事業継続が困難とのことですが、将来的に補助金依存度を段階的に下げるための検討（協賛、他助成金、内容のスリム化等）はご検討されていますか。	補助金がなくなれば、事業を中止します。本事業は、行政（教育委員会の生涯教育）が、主催するに相当するものと思っています。
	山協委員	4	個人への謝金を支払う場合、所得税の源泉徴収を行い納税し、税務署への支払調書を提出されていますか。	源泉徴収は行っていません。受領した本人が申告すべきと思っています。
	石垣委員	5	受益対象者についてお伺いしたいのですが、メインターゲットの年齢層はどのくらいでしょうか。また実績としてはどの年齢層が多いのでしょうか。	年齢層のターゲットは絞っていません。市民全体を対象にしています。実際は、高齢者が多いように見受けられます。それでも、家庭内や知人間で話題になれば意味あるものと思っています。
		6	学生の方は無料で参加できるという点、素晴らしいと思います。昨年までに何名くらいの学生の方が参加されましたか。	1回目は2人、2回目は1人で今までで合計3人です。市川市内の小・中学校にチラシを配布していますが、反応はありません。そもそも、先生方は積極的に興味が無いかもしれません。
		7	チラシの配布先はどのようなところにされていますか。	講演者の知人（50人）、後援団体（17ヶ所）、市会議員（42人）、市川市内公的施設（80ヶ所）、千葉市内の公民館等（48か所）、市川市立小・中学校（52ヶ所）、市内私立小～大学（5か所）、市川市内自治会（19か所）、二宮尊徳資料館等（5か所）、商工会議所
		8	チラシ送料2万円の内訳について教えてください。（過去にも質問があったようですが、別紙回答だったようで確認できずお伺いします。）	宅配（2）・3,000円、郵便2枚入り（31）・8,370円、レターバック（2）・860円、郵便1枚入り（50）・5,500円 合計17,730円
		9	消耗品費の雑費1万円、テープ等1万円について、具体的な内容をお知らせ下さい。	雑費、テープ等・2万円：リボン（3）・3,989円、製版テープ（5）・2,745円、コピーーインク（1セット）・6,933円 合計13,667円
	10	今回の研修会参加者想定人数100名（申請書類P2）に対して、収支予算書の事業収入の部分では参加料×140名分となっています。+40名分の参加費はどのように捻出されますか。	不統一で混乱させ申し訳ございません。140名に統一します。100名としたのは、最低100名集客しないとやった甲斐がないと思いがりました。140名に達せず、不足金が発生すれば、当然のことながら会が負担します。	
	11	非営利ではありますが、参加費を徴収しているイベントになりますが、映画の著作権料は発生しませんか。	映画著作権料は、上映フィルム借用として110,000円計上してあります。予算書参照ください。	
	鈴木委員	12	事業計画書では、参加人員は100人となっていますが、収支予算書の参加費は140人となっています。この違いはなぜですか。	上記説明をご参照ください。
		13	事業実施にあたって、講師を決定する選定基準を教えてください。	①ネームバリューがあり、一般市民に判り易い話し方をする人、②講話を聞いた方で好感度のある方
		14	収支予算書で、今回新規支出の交通費については、単価と数量を記載してください。	駐車場料金：@600円X3回=1,800円
	神原委員	15	読書会や講演会の開催回数以外で効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行っていますか。	イベントは、会員限定ではなく一般市民を対象としたものです。事前の学習や事後のレポートは現実的には、難しいです。定量的評価は、偏に、参加人数の多寡と考えています。
		16	事業の目標を本年度・最終別に教えてください。	事業の目標は、行政が変わって、行政と共に生涯教育を行うことにあります。教育の現場で等閑にされている日本の偉人を学び、日本及び日本人に誇りを持つ市民が一人でも増えることを願っています。それが、最終目標です。

意見一覧

・審査会委員補助資料によれば、「目的と目標に効果がみられること」が審査要件の一つとされています。しかし、本団体の現在の目的・効果ではその判断ができません。その理由は50～100年もかかるかもしれない教育の効果を目標としていることにあります。補助金申請のためには、審査会で判断可能な目的・効果を示してもらい必要があるのではないかと思います。団体の活動については基本的な教育活動と定義されているので、例えば、主な活動である研修会について事前の準備学修と事後のレポートを参加者に提出してもらい、全員で共有するなどし、教育効果の蓄積を図るようなことが考えられるかもしれません。その際、参加者と提出者の数などが一つの目標として設定できるかもしれません（一つの例です）。いずれにしても、50～100年もかかるかもしれない教育の効果を待つのではなく、そこへ向かってのステップとしての目標を設定していただく必要があるのではないのでしょうか。その方が、活動主体にとっても自己評価を行いやすいものと思います。

・教育というテーマ、学生参加無料と設定をされているので、10代～20代にも積極的に参加を促していきたいのではないかと感じました。それに対して、どのようなアプローチをされているかが、申請書やHPを拝見しただけでは読み取ることが難しかったので、上記5,6のような質問をさせていただきました。

・本事業の内容からみて、事業の目的効果の達成には、継続して実施することが重要と考えます。継続の必要性は高いと思います。

令和8年度 市川市市民活動団体事業補助金申請 質疑への回答一覧

[審査一覧表に戻る\(クリックしてください\)](#)

申し送り事項	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同事業にて4回目の申請であるため、お諮りするもの。 <p>【団体より】</p> <p>1. 目的・効果：</p> <p>①毎年、行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り・行文懇講座を実施したことにより、参加者いただいた皆様からこれまで知らなかった行徳の歴史・文化を知ることができたとの声をいただいた。これにより、学びの場が創成され、定着した。</p> <p>②また、行文懇講座や勉強会等を通じ、有識者から歴史・文化の掘り起こしを行うことができ、町の魅力を見出すことができた。</p> <p>③さらには、会報誌「もしおぐさ」の刊行によって、掘り起こされた歴史・文化を、書き残し、図書館等に提供し、後世への伝承する基盤が整った。</p> <p>2. 達成度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行徳・浦安三十三カ所観音札所巡り・行文懇講座は、人気のイベントであり、毎回定員を超えた応募がある。これまで参加できなかった方、新たに関心が生じた市民に対し、今後も継続して機会を提供する必要がある。 ・町の歴史を知る有識者も高齢化しており、早い段階で多くの方から歴史の掘り起こしをすることが必要である。 ・昨年度新たに打ち出した舟運体験については、初回を実施し、約70名が体験したのみであり、今後定着まで少なくとも2～3回は試行運行が必要である。 <p>3. 資金面の自立：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行徳・浦安三十三カ所観音札所巡りについては、参加費を上げるによりお布施代を賄えるようになってきた。 ・しかしながら、行文懇講座については、市の施設を借用した場合に参加費を徴収できないため課題である。 ・「もしおぐさ」に関しては、有料での販売で賄えるようになってきているが、小中学校や市の施設などに多く配布するためには、依然補助金が必要である。 ・さらには、舟運体験においては、参加費をとっているものの、高額な屋形船等をチャーターする必要がある。また天候により運行できない等のリスクもある。資金調達状況を強固にする必要があるため、今後も補助金を必要とする。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

団体名	委員名	NO.	質疑一覧	団体からの回答
行徳郷土文化懇話会	奈良委員	1	本事業は同一事業として4回目の申請となりますが、これまでの実施を通じて、事業内容や運営体制はどのように成熟・発展してきたと自己評価されていますか。	事業内容に関しては、行徳の歴史のどの部分を切り取って地元の皆さんと討論をしたら興味を引き、さらなる歴史口伝の発見につながるかが分かって来たのではないかと思います。それが今年度行った舟運体験につながっています。運営体制は昨年度代表が峰崎会長に代わり、市内の各団体との連携が広がっています。
		2	今回の申請事業は、これまでの延長ではなく、どの点に新規性または深化があるのか、具体的にご説明頂けますでしょうか。	これまでは、講演会などの対象を主に行徳地区の住民を考えて、募集の記事を地元のコミュニティペーパーのみに載せていましたが、広く市川市全体の皆さんに行徳の事を知っていただくことも大切だと考えSNSでの募集を開始しました。その結果市川市北部の方や浦安市、江戸川区などからも参加していただくようになりました。また、今年度は新たに行文懇講座を舟運体験として行い、行徳という町がこれまでどういった町とつながり発展してきたかを学びました。
		3	参加者から「行徳の歴史・文化を知ることができた」との声があったとのことですが、参加者数の推移、リピーター率、アンケート結果など、客観的なデータとして把握している成果指標がございましたら、ご提示頂けますでしょうか。	参加者は毎回会場の都合で人数制限をしておりますので参加者数は一定です、三十三カ所巡りは募集人数を上回る応募（2倍ほど）で抽選となっています。毎回参加者に配って記入していただいているアンケートには8割の方がまたイベントがあったら知らせてほしい場合に〇をつけ、メールアドレスを記入していただけます。行文懇講座のリピーター率は高く人数制限がなければ3割の方が参加です。行徳地区には大勢が集まれる会場が少なく毎回少人数での開催になっているのが残念です。
	山脇委員	4	保険料は三十三カ所巡り分のみ計上されているようですが、行文懇講座の保険料が計上されていない理由を教えてください。	行文懇講座を公民館などで行う講演会のかたちで行うときは保険は必要ありません。舟運講座として屋形船を借りて行う場合は船宿側の保険が適用されますので当会として保険はかけません
	大西委員	5	33カ所巡りの参加費はどのような名目に使われているのでしょうか。	参加者からの参加費で、お寺へのお布施をまかっています。各寺では御住職が資料を用意してお寺の由来や仏教の教えをお話しくださいます。
		6	参加費以外にお参りすることの自己負担などあるのでしょうか。	お布施は参加費からまかっているの、各自お参りするときのお費銭くらいです、それも任意ですので必ず必要ではありません。
	鈴木委員	7	事業計画書に記載されている参加人員150人の実施事業ごとの内訳を教えてください。	過去の実績から三十三カ所巡り30名、行文懇講座 講演会2回各30名=60名 舟運講座60名です
		8	舟運体験の所要時間はどれくらいですか。	2時間半です。（9時半集合、10時出航、12時半帰着）
	神原委員	9	事業対象者を具体的に教えてください。	主（9割）に市川市民、浦安市民の参加もあります。
		10	事業対象者の募集にあたっては、どのように広報し募集していますか。	「行徳郷土文化懇話会」フェイスブックページ、インスタグラム、地域フリーペーパー（ただし有料イベントは載せられない）
		11	効果の定量的測定（検証）はどのような方法で行っていますか。	毎回参加者にはアンケート用紙を配って記入していただいています。リピーター率を上げるため今回のイベントのお知らせを受け取りたいという方はメールアドレスを書いていただきイベントを優先的にお知らせしています。満足度を数字で記入していただくことはしていませんが、毎回ほぼ全員の方に良かった、貴重な体験だったという言葉をいただいています。また、参加者には当会のフェイスブックページを紹介しています。グループに参加していただいている方もいますし（現在80名）、見たので申し込みますという方もいます。
		12	事業の目標を本年度・最終目に教えてください。	札所巡りはすでに地元で定借しており、各お寺では準備して待っていただいています。しかし行徳の街全体とまでは言えず、特に海側の新しい町の方の参加や認知度は低いです。それは札所巡りだけではなく、行徳の歴史的歩みや寺町に対する興味もまだまだだと思います。行徳まちづくり協議会などと協力してイベントを行い、新しい町と古い町の皆さんがお互いに興味をもって交流し行徳が一つになることがひいては行徳の歴史に興味を持ってそれを学び、守っていく事になるのではないかと、そうすれば今は町の長老が守っている伝統も、もっと若い世代が引き継いでいってくれるのではないかと、それを後押し出来る事が会の目指す形です。
	13	1～3回目の効果の推移を教えてください。	1, 2回目までは会誌「もしおぐさ」の発行に補助金が使えればきちんとした本として発行できるのではないかと、講演会に来ていただく講師にも講師料をお支払いできるようにしたいという考えで申請してきましたが、3回目からは会報だけでなく、講演会の内容を充実させ、それをもとにした研究報告を会報に載せることもにも活用できるようになりました。会報を読んでもいただき、その結果として市民の間に当会に対して次はどのような内容の講演会を行うのか等の期待と、こんな話があるんだけど聞きに来たらいいなどのお声がけをいただくようになりました。（会報は講演会などで購入していただいている他、各図書館、小中学校にも配布してあります）	
意見一覧				
<p>歴史ある団体として実績も多く、また創意工夫も感じられました。</p> <p>次世代への継承という点について、子供たちは学校で地域の歴史を学んでいますが、実は保護者の方が知らないことも多いです。活動が多岐に渡って発信され、多くの市民に知ってもらえるよう継続していただきたいです。</p>				

令和8年度 市川市市民活動団体事業補助金申請 質疑への回答一覧

[審査一覧表に戻る\(クリックしてください\)](#)

申し送り事項	<p>【申し送り事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同事業にて4回目の申請であるため、お語りするもの。 <p>【団体より】</p> <p>1. 目的・効果： 1年間で私たちの活動に参加してくださる方の人数も増えています。2025年7月までで述べ1,170名の保健室への参加がありました。（その他、イベント等への参加は除く）宿泊して心地よさを体験するような保健室も開催できるようになってきています。また、1回目の事業申請から、登録して下さっている市民のボランティアが11名から33名と増えました。オープンダイアログと言う対話による精神科の治療法を参考にした民主的な安心安全なコミュニケーションである「対話」について学ぶ会も定期的に行い、参加された方の中から自主的な勉強会も始まっています。</p> <p>2. 達成度： 10代から20代の参加者が少なく（約10%）、予防という観点からは、この年代の人にターゲットを絞った保健室の開催が望まれると考えています。2026年2月より「こころとからだのユースケアちば@いちかわ」という事業名で産婦人科医と助産師の協力を得て、定期的な若年層向けの保健室の活動をこれまでの活動に加えて開始する予定です。</p> <p>3. 資金面の自立： これまでの実績をもとにちば県民保健予防基金等の補助金の申請を検討しています。また、より継続可能な資金調達を含めた会の運営のために2026年度はNPO法人ないし、一般社団法人といった法人格となることを検討しており、会費に基づく会の運営や補助金・助成金の申請を行っていかうと考えています。ただし、法人化したとしても、市民ボランティアの参加については「市民の育成・参加・協働」と言う意味では欠かせず、市民活動としての側面は継続していきたいと考えています。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

団体名	委員名	NO.	質疑一覧	団体からの回答
いちかわみんなのほけんしつ実行委員会	奈良委員	1	法人化後、会費収入・補助金・助成金の比率について、現時点で想定している収支構造があれば教えてください。	現在、法人化の方向で話し合いをしている最中で、NPO法人か一般社団法人かも確定しておらず、検討中です。このため、まだ想定は出来ておりません。
		2	法人格取得後も市民活動としての性格を維持するとありますが、意思決定や運営面で市民ボランティアの参画をどのように担保していく予定でしょうか。	現在に引き続き、市民活動として、広く会員・非会員に関わらず、市民がどなたでも参加できるようにします。また、それぞれの企画作成の際に、アンケートや、参加する市民との対話の場を開き内容や計画を決めそれぞれの会を開催するようにして、市民との共創（コプロダクション）の工夫をしていきたいと考えています。
		3	若年層向け新事業「こころとからだのユースケアちば@いちかわ」では、具体的に既存の保健室とどのような点を差別化する予定でしょうか。	10代から20代に特有の悩みである、こころとからだ、例えば性に関する知識や、恋愛関係、人権、メンタルヘルスリテラシーに関するレクチャーを実施したり体験ができるブースを作ります。（いちかわみんなのほけんしつは、特定的话题を強調していません）
	大西委員	4	宿泊体験事業についてですが、参加費はいくらの設定でしょうか。その内訳も教えてください。	3,000円～5,000円です。アンケートでそのくらいの費用なら払えるという意見が多かったからです。この範囲でできる宿泊施設や、実費を検討して行っています。実際は寄付金で数千円の不足分を補っています。
		5	とても良い企画だと思いますが、今まで行われての、成果などありましたら教えてください。	関わってくださる市民ボランティアや参加者が増えています。また、安心安全対話とともに学ぶ会に参加した市民とボランティアさんが、対話の勉強会を自主的に開催するようになり、主体的に参加される方が増えてきました。
	渡邊委員	6	具体的にどのような方を対象にされているのか？その効果が読み取れない。	病院に行くほどではないけれど、ちょっと誰かと話したい、でも誰にも話せるようなことではなく孤立しがちな方を対象にしています。ほけんしつで対話することで問題の解決にはなりませんが、気持ちや状況を整理できつながりを感じられます。参加者アンケートでも「否定しないで話をきいてもらえる」「人の話を聞いて参考になった」と言う声が多くあります。
	石垣委員	7	予防の観点で、ぜひ若年層へのアプローチも進めていただきたいと思います。 「こころとからだのユースケアちば@いちかわ」について、特に産婦人科医、助産師との連携でどのようなことをなさるのか、もう少し教えていただけたら嬉しいです。	10代から20代に経験するストレス、例えば、性のこと、恋愛や社会に参加していく際に起きる人間関係の悩み、ジェンダーや避妊・妊娠・出産等の身体の変化に伴う悩みに焦点を当て、対話だけでなく、具体的な情報提供（パンフレット、書籍、避妊具や生理用品などのグッズの紹介）を行い、本人だけでなく、その周りにいる人にもケアの仕方を知っていただいたり、ともに学ぶ場を作りたいと感があります。
		8	パンフレットの配布先はどのようなところにされていますか。	市川市内の公民館、図書館などのNPO・市民活動支援課を通じて配架依頼をできるところ（約55か所）、市内の相談機関（がじゅまる+、いちかわうらやす若者サポートステーション、えくる、くらっち）真間や南行徳周辺の喫茶店・診療所、こども食堂をやっている場所などに配架しています。
	神原委員	9	事業対象者数（事業の規模）を教えてください。	今年度は500人程度で、来年度も同様の内容の活動を行いますので、500人を目安に考えています。ユースケアや他の勉強会の開催も検討していますが、そちらは別の事業として考えています。
		10	事業の目標を本年度・最終別に教えてください。	事業の目標は、市川市が一般市民も参加する、メンタルヘルスを含む病気の予防ができる町になることに寄与したいと思っています。また、来年度は、参加する市民の方が活躍する場をもっと作ること、例えば事務局の機能をしっかりとすることでそこで働けるようにしたり、ほけんしつや研修会を主体的に開いていただけるようにしていくことです。
		11	1～3回目の効果の推移を教えてください。	自分の気持ちを話す機会が少ないとのことで、1年目は安心安全な場を作るために対話（議論や会話ではない話し方）が役に立つという事に気づき、問題を解決よりも対話することで気持ちを整理することが大切と感じるようになりました。2年目はより多様で沢山の人が参加されるようになっていき、対話についての研修会も始めました。3年目は2年目の研修会に参加された方がスタッフとなり研修会を企画運営し、主体的に参加されるボランティアさんが増えてきている印象です。
		12	若い人の参加が少ないとのことですがその原因分析と対策を行っていますか。	10代から20代の方向けのほけんしつに必要なことを十分に出来ていないと考えています。対策として、欧米で行われているユースクリニックをモデルに日本でも様々なユースクリニックが開かれるようになってはいるのですが、それをモデルに7番に記載したようなことを実施できると良いと考えています。
意見一覧				
<ul style="list-style-type: none"> ・市からの補助金によって精神科医などのみなさまがボランティアで、医療職对患者とはまた異なる関係性からできる活動をされていることに敬意を表します。 ・10代からのアプローチについては、すでにさまざまなご検討をされていることと思いますが、市川市内では市川工業高校で居場所カフェ（りりいふカフェ）が開設されているようで、活動の連携などもアプローチの一つかと思いました。 ・開設からこれまでの歩みを着実に進められていて、またニーズにすぐ寄り添った支援をされていて素晴らしいと感じました。 ・「ほけんしつ」という言葉がすごく分かりやすくて、病院や専門機関に行くべきか迷うところの前段階で、どんな方が参加してもいいと感じます。学校以外のまちの中にあるというのはすごく素敵な考えだと思いました。 ・HPに掲載されていた動画がとても分かりやすかったので、若年層へのアピールという点では、ショート動画などを活用し少しずつコンテンツ発信をなさるのも効果的だと感じました。 ・概要調書に記載された、これまでの事業実績からみて、補助対象事業の目的達成に向けた効果が出てきていると思います。 				

審査項目（新規団体）

※1【団体要件】

- (1) 市内に主たる事務所を有し、かつ、市内において活動をしていること
- (2) 市民活動団体の目的、名称、その行う活動の種類及び活動に係る事業の種類その他規則で定める事項を記載した規約、会則、定款等（以下「規約等」という。）を有していること
- (3) 5人以上の者で構成されていること
- (4) 申請書の提出時において、1事業年度以上継続して活動していること（任意団体からNPO法人に組織を変更した場合を含む）
- (5) 法令、条例等に違反する活動をしていないこと
- (6) 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていないこと
- (7) 申請書の提出に係る年度から起算して5年以内に、偽りその他不正の手段により補助金の交付の決定を受けたことにより当該決定の全部又は一部を取り消されていないこと
- (8) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団並びに同条第6号に規定する暴力団員及び市川市暴力団排除条例第9条第1項に規定する暴力団密接関係者が市民活動団体の代表者、役員その他これらと同等の責任を有する者として当該市民活動団体の事業活動の支配をしていないこと

※2【事業要件】

- (1) 規則で定める20分野の事業であること
- (2) 市内において実施するものであること（市内に活動拠点があり（市の市民が中心となり）、その活動が市のPRやイメージアップ又は市川市民の生活に何らかの形で貢献するもの）
※市外での活動（例：市外のキャンプ場での野外活動）や、インターネットによる事業開催も、市川市民にとって価値ある情報の提供、又は市川市民を対象にした内容であると認められる場合には対象となります。
- (3) 営利を目的としないものであること
- (4) 市民を主たる対象とするものであること
- (5) 団体を構成する者のみを対象とするものでないこと（障がい者向けの団体などで、安定した団体運営のために会員制を採用している場合は対象となります。）
- (6) 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成するものでないこと
- (7) 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対するものでないこと
- (8) 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対するものでないこと
- (9) 補助金の交付を受けようとする年度に本市から助成金その他相当の反対給付を受けない給付金の交付を受けていないこと

※3【実施基準】

- (1) 市の税金を使って補助金を支出するにふさわしい市民の理解が得られる事業であること
■事業実施団体として
市民が日頃の生活の中で抱えている課題や問題を、自主的自発的に解決、改善しようとしている（※国外や日本全体に及ぶ問題は当該補助金の対象とするか要検討）
■事業に参加する市民から見て
団体の規約等に定められた目的と合致した事業で、地域の課題や問題が解決されると感じられる（※スポーツ大会や演奏等、会員の活動を発表する事業は、市民の観覧や参加が可能な環境を備えていることが必要）
- (2) 目的を達成できる見込みのある事業であること
- (3) 広く市民が参加できように広報等で呼びかけをしていること
- (4) 事業規模に合う実施場所や実施時期、スケジュールが計画されていること
- (5) 費用が適切に積算され、資金計画に問題がないこと（補助金以外の収入確保の観点）
- (6) 事業の参加予定人数に対し、主催する団体側の人員を十分配置できること
- (7) 専門的な知識や技能を持つ方を講師等としてお招きする場合は、団体の構成員以外に、20人以上の市民が参加する事業であること。（福祉目的で、事業の計画的な運営のために会員制を採用している事業（例：障がい児・者の水泳療育等）は除く。）

投票シート

資料4-1

榎戸委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

奈良委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

江口委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

山脇委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

大西委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

齋藤委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

渡邊委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

石垣委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

鈴木委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-1

神原委員

特定非営利活動法人世界の胎音計

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

榎戸委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

奈良委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

江口委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

山脇委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

大西委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

齋藤委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

渡邊委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

石垣委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

鈴木委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-2

神原委員

特定非営利活動法人M&MTable

審査の着眼点【新規団体】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 団体要件を満たしているか	(1)市民活動団体であるか (2)8つ要件※1を全て満たしているか	○	△	×
2. 事業要件を満たしているか	(1)9つの要件※2を全て満たしているか (2)7つの実施基準※3全てに適合するものか	○	△	×
3. 補助費目（経費）の妥当性	あくまでも、事業遂行のために直接要する経費が対象となり、団体の維持・運営等に要する経費（団体会員の人件費、光熱水費、備品購入費等）や、他の事業に流用可能と思われるものは対象外となります。	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-3

榎戸委員

実践人市川読書会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-3

奈良委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

江口委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

山脇委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

大西委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

齋藤委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

渡邊委員

実践人市川読書会			審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋			評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない							
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。							

投票シート

資料4-3

石垣委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

鈴木委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-3

神原委員

実践人市川読書会		
審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○ △ ×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○ △ ×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○ △ ×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない	
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。	

投票シート

資料4-4

榎戸委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

奈良委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

江口委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

山脇委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

大西委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

齋藤委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

渡邊委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

石垣委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入して下さい。			

投票シート

資料4-4

鈴木委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-4

神原委員

行徳郷土文化懇話会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

榎戸委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

奈良委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

江口委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

山脇委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

大西委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

齋藤委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

渡邊委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

石垣委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

鈴木委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			

投票シート

資料4-5

神原委員

いちかわみんなのほけんしつ実行委員会

審査の着眼点【継続団体(4回目以降)】 ※審査会委員補助資料より抜粋		評価		
1. 継続の必要性	(1)当初提案した事業の目的と目標に効果がみられる (2)事業目的が達成されていない (3)資金面で自立ができていない	○	△	×
2. 改善状況	審査会から指摘があった場合、それに対する改善状況はどうか	○	△	×
3. 補助費目(経費)の妥当性	継続が認められる場合、その経費が妥当であるか	○	△	×
最終評価	1 交付する 2 条件付きで交付する 3 交付しない			
評価の理由	最終評価の理由をご記入下さい。また、条件を付記する場合は内容を合わせて記入してください。			